データ表示／編集／管理

保存した画像を表示する

FOMA端末で撮影した静止画や、サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画は、データBOXのマイピクチャに保存され、イメージビューアで再生できます。
- 静止画やスライドショーをテレビ画面に表示することもできます。（☞P.474）

1 待受画面で◉ 7 1 を押す。



マイピクチャの
フォルダ一覧画面

- TOPメニューから（データBOX）→［マイピクチャ］の順に選択することもできます。
- 待受画面でを１秒以上押しても表示できます。
- データBOXのマイピクチャのフォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選んで◉を押す。



［カメラ撮影］
フォルダを
選んだ場合

- 静止画の画像一覧画面が表示されます。
- 静止画撮影画面（☞P.170）で 2 を押しても表示できます。
- 画像一覧表示を切り替えるときは、 0 を押し、 1 ［９分割表示］または 2 ［16分割表示］、 3 ［リスト表示］を押します。
- 次のページを表示するときは、を押します。
- 前のページを表示するときは、を押します。
- miniSDメモリーカード内の静止画を確認するときは、 # を押します。再びFOMA端末（本体）の静止画を確認するときは、 # を押します。

3 静止画を選んで◉を押す。



- を押すと、前後の画像を表示します。
- 静止画がディスプレイより小さいときや大きいときは、◉を押すと、［等倍］［縮小］［拡大］表示を切り替えることができます。（静止画のサイズ自体は変更されません。）
- 静止画のサイズが［240×252］より小さい場合、［等倍］［拡大］表示を切り替えることができます。［240×252］より大きい場合、［等倍］［縮小］表示を切り替えることができます。［240×252］の場合、［拡大］［等倍］［縮小］は表示されません。
- GIFアニメーションやFlash画像は拡大表示／縮小表示の変更ができません。
- 静止画を全画面表示するときは、 view または 2 を押します。
- 画像一覧画面で view を押しても表示できます。ビューアポジションのときは（シャッター）を１秒以上押します。全画面表示を解除するときは、、、以外のいずれかのボタンを押します。

お知らせ

- メモリの空き容量がなくなると、データをそれ以上保存できなくなります。ただし、カメラで撮影した静止画や、画像編集した静止画、ダウンロードした画像をFOMA端末（本体）に保存するときは、不要なファイルを削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます。（☞P.393）
  撮影や静止画の編集、サイトから静止画をダウンロードする前に、メモリの使用状況を確認してください。（☞P.396）
- 画像の保存件数が多くなると、画像の表示、保存が遅くなる場合があります。
- 保存したGIFアニメーションやFlash画像は、コマ落ちなど、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- 現在の画像の参照先（FOMA端末（本体）または miniSDメモリーカード）は、イメージビューアをいったん終了しても記録され、次回、イメージビューアを起動したときも同じ参照先となります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

お知らせ

データBOXのマイピクチャに保存した静止画は、パソコンをお持ちの場合、miniSDメモリーカード（☞P.381）を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データ BOXのマイピクチャに登録してある静止画が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

関連操作

ズームを利用する＜ズームアップ＞

「保存した画像を表示する」(☞P.342)の操作３の画面で[メニュー][1]▶[メニュー]［拡大］

- ほかの部分を表示するとき：[マルチ]
- 元の表示に戻すとき：[決定]
- 拡大した静止画表示を縮小（ズームダウン）するとき：[メール]［縮小］

ライトアップする＜ライトアップ＞

「保存した画像を表示する」(☞P.342)の操作３の画面で[メニュー]▶［■ライトアップ］▶[決定]

- または[#]（１秒以上）
- 消すとき：同じ操作をする、または他の画像を表示する

再生時の照明を設定する＜再生中照明設定＞

1 マイピクチャのフォルダ一覧画面（☞P.342）で[メニュー][6]

2 常にONにするときは[2]

- 照明設定に従うとき：[1]

お知らせ

ズームアップについて

- ズームを利用できるのは、JPEG画像のみです。

照明について

- 再生中照明設定を［照明設定に従う］に設定しているときは、照明時間設定（☞P.133）で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- 再生中照明設定を［常にON］に設定しているときは、Flash画像の再生時、画像の表示を終了するまで照明時間設定（☞P.133）で設定した時間が経過してもバックライトが消灯しません。ただし、ライトアップ時は設定した時間が経過するとバックライトが消灯します。
- ライトアップ時は、ディスプレイの明るさの設定（☞P.135）にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

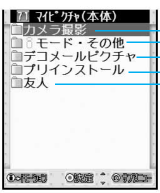
再生中照明設定について

- お買い上げ時は、［照明設定に従う］に設定されています。（☞P.133）
- Flashの再生が対象です。

マイピクチャのフォルダ一覧画面／画像一覧画面の見かた

■ マイピクチャのフォルダ一覧画面の見かた

FOMA端末（本体）



- カメラ撮影：FOMA端末で撮影した静止画用フォルダ
- iモード・その他：サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで入手した静止画、メール添付のときに圧縮された画像やフレーム、スタンプの画像用フォルダ
- デコメールピクチャ：あらかじめFOMA端末に内蔵されている、あるいはサイトやインターネットホームページから入手したデコメール画像やデコメールテンプレートや、デコメールからテンプレート保存したデコメールテンプレート用フォルダ
- プリインストール：あらかじめFOMA端末に内蔵されている静止画用フォルダ
- 友人：お客様が作成できるフォルダ（☞P.392）

データ表示／編集／管理

次ページへ続く

miniSDメモリーカード

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、マイピクチャフォルダ一覧画面で[#]を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。（☞P.384）



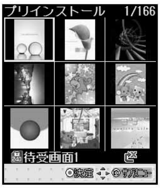
FOMA端末で撮影した静止画や、DCF準拠のJPEG、GIFアニメーション以外のGIF画像フォルダ。静止画撮影やFOMA端末（本体）から静止画をコピーするとカメラフォルダ100が自動的に作成され、ファイル数が400件になると、カメラフォルダXXX（「XXX」は100～999の３桁の半角数字）という名前のフォルダが自動的に作成されます。（カメラフォルダの「XXX」は変更できますが、000～099に変更しても認識されません。）

お客様が作成できるフォルダ（☞P.389）

FOMA端末（本体）からコピーしたGIFアニメーションやDCFに準拠していないJPEG画像用フォルダ

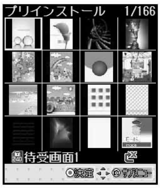
■ 画像一覧画面の見かた

画像一覧画面は、［９分割表示］［16分割表示］［リスト表示］のいずれかで表示できます。



©BVIG
©SCN

９分割表示



©BVIG
©SCN

16分割表示



リスト表示

静止画情報マークの見かた

	JPEG						
画像の種類とサイズ	アイコン：76×76	sQCIF：128×96	QCIF：176×144	待受：240×320	CIF：352×288	VGA：480×640	1.2M：960×1280
保護設定なし	76	128	176	240	352	480	960
保護設定あり	76	128	176	240	352	480	960

	JPEG			GIF画像	Flash画像	デコメールテンプレート
画像の種類とサイズ	UXGA：1200×1600	３M：1536×2048	その他			
保護設定なし	1200	3M	JPG	GIF		DECO
保護設定あり	1200	3M		GIF		DECO

- FOMAカード動作制限機能が設定された静止画には、［ ］（保護設定なし）、［ ］（保護設定あり）が表示されます。
- 待受画面やピクチャーコールなどの画面設定画像や所有者画像、スケジュールなどに設定した静止画には、［ ］が表示されます。
- メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されている静止画には、［ ］が表示されます。
- ｉモードなどでダウンロードした静止画には［ ］が、miniSDメモリーカードやバーコードリーダーで取得した静止画には［ ］が表示されます。ただし、フレーム画像とスタンプ画像は取得元にかかわらず［ ］が表示されます。
- カメラ撮影した静止画には［ ］が表示されます。
- キャラ電撮影した静止画には［ ］が表示されます。
- ブック／辞書で保存した静止画には［ ］が表示されます。
- PDF対応ビューアの表示画面を切り出して保存した静止画には［ ］が表示されます。

データ表示／編集／管理

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

- 画像サイズが該当しない場合は、[JPG][ ][GIF][ ][ ][ ]が表示されます。また、画像サイズは[情報表示]の表示サイズで確認することができます。(☞P.395)
- 本FOMA端末で撮影できる撮影サイズ、撮影枚数などについては、P.166を参照してください。
- 静止画の保護設定を変更することもできます。(☞P.395)

関連操作

リスト画面の表示方法を変更する<表示切替>

待受画面で◉7 1▶フォルダ▶◉▶📷0▶表示方法▶◉

お知らせ

リスト画面の表示方法変更について
- お買い上げ時は、[9分割表示]に設定されています。
- 静止画のタイトル名は、最大全角31文字(半角63文字)まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角7文字(半角14文字)です。

Flash画像を再生する

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたFlash画像は、データBOXのマイピクチャの[iモード・その他]フォルダに保存され、再生できます。

1 待受画面で◉7 1を押し、フォルダを選んで◉を押し、**Flash**画像を選んで◉を押す。

- TOPメニューから (データBOX)→[マイピクチャ]の順に選択することもできます。
- 画像一覧画面でFlash画像には、[ ][ ]が表示されます。
- Flash画像が再生されます。
- 再生を始めからやり直すときは、再生中に◉[停止]を押し、📷1を押します。

お知らせ

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。

関連操作

再生時の照明を設定する<再生中照明設定>

1 Flash画像の再生中に◉[停止]▶📷8
2 常にONにするときは2
- 照明設定に従うとき:1

再生時の音量を設定する<音量変更>

待受画面で◉7 1▶フォルダ▶◉▶📷6▶◌(上げる)/◌(下げる)▶◉

お知らせ

再生中照明設定について
- お買い上げ時は、[照明設定に従う]に設定されています。(☞P.133)

音量変更について
- お買い上げ時は、[音量3]に設定されています。

スライドショーを見る<スライドショー>

指定したフォルダ内の、再生可能なすべての画像を、連続表示できます。

- プリインストールフォルダはスライドショーできません。

1 待受画面で◉71を押し、フォルダを選んで📷5を押す。

- ［画像展開中］と表示され、全画面表示サイズでスライドショーが開始されます。
- 再生を中止するときは、CLRを押します。

■ スライドショー動作時にBGMを流す

スライドショー動作時にBGMを流すことができます。BGMの音色や音量も設定できます。ただし、マナーモード設定中は、BGM設定をしてもサイレントで再生します。

- BGMの音色は、データBOXのメロディから選択できます。
- お買い上げ時は、音色は［ラグタイムダンス］、音量は［サイレント］に設定されています。

1 待受画面で◉71を押し、フォルダを選んで📷4を押す。



2 BGMの音色や音量を選ぶ。

BGMの音色を設定する	1→フォルダ→◉→メロディ→📄［決定］
BGMの音量を変更する	2→音量→◉

■ スライドショーの再生間隔や効果を変更する

マイピクチャフォルダ内のスライドショー動作時の再生間隔（スピード）や効果を設定できます。

- お買い上げ時は、再生間隔は［普通］、効果は［OFF］に設定されています。

1 待受画面で◉71を押し、フォルダを選んで📷4を押す。

- スライドショー設定画面が表示されます。

2 3［再生間隔］を押し、再生間隔を選ぶ。

もっと速く	1	画像を表示後、すぐに次の画像を再生します。
速く	2	画像を約３秒間表示してから次の画像を再生します。
普通	3	画像を約５秒間表示してから次の画像を再生します。
ゆっくり	4	画像を約10秒間表示してから次の画像を再生します。

※ 再生間隔は、画像の大きさにより表示時間が異なる場合があります。

3 4［効果設定］を押し、効果を選ぶ。

OFF	1	効果を設定しません。
ワイプ↓	2	静止画に重ねて、上から下に次の静止画を表示します。
ワイプ↑	3	静止画に重ねて、下から上に次の静止画を表示します。
ワイプ→	4	静止画に重ねて、左から右に次の静止画を表示します。
ワイプ←	5	静止画に重ねて、右から左に次の静止画を表示します。
ミックスワイプ	6	上下左右からランダムに次の静止画を表示します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

静止画を添付してｉモードメールを送信する

データBOXのマイピクチャから静止画を選択し、ｉモードメールに添付して送信できます。

- 送信できる静止画のファイルサイズは最大500Kバイト（512000バイト）です。
- 送信できる静止画は、ｉモードメールに添付されてきた静止画、FOMA端末で撮影した静止画、サイトからダウンロードした静止画のうちメール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されていないものです。
- ファイル制限されている静止画でも、本FOMA端末で撮影した静止画やminiSDメモリーカードで取得した静止画は送信できます。

1 待受画面で[●][7][1]を押し、フォルダを選んで[●]を押し、静止画を選んで[i]［メール］を押す。



- 「待受：240×320」より大きいサイズのJPEG画像を選んだときは、［待受サイズに縮小しますか？］と表示されます。［はい］を選んで[●]を押すと縮小して添付されます。［いいえ］を選んで[●]を押すと、ファイルサイズが500Kバイト以下の場合はそのまま添付されます。500Kバイトを超える場合は自動的に500Kバイト以下になるように圧縮して添付されます。
- 「待受：240×320」サイズはｉモード端末に送信するのに適したサイズです。
- 圧縮された静止画は、マイピクチャの［ｉモード・その他］フォルダに自動的に保存されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

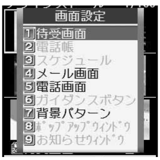
- 詳しくは、P.255の操作2～4を参照してください。

画像を待受画面などに設定する＜画面設定＞

データBOXのマイピクチャに保存されている静止画を、待受画面や電話発着信、メール送受信画面、ガイダンスボタンなどに設定できます。

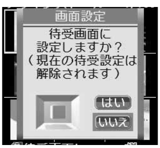
- フレームとスタンプは画面設定できません。
- Flash画像は、待受画面、電話発着信画面に設定できます。
- JPEG画像とGIFアニメーション、一部のGIF画像は、ポップアップウィンドウやお知らせウィンドウ、ガイダンスボタンに設定できません。また、一部のJPEG画像とGIFアニメーションや一部のGIF画像は、背景パターンに設定できません。

1 待受画面で[●][7][1]を押し、フォルダを選んで[●]を押し、静止画を選んで[📷][5]を押す。



- 静止画表示画面（☞P.342の操作3）で、Flash画像は[📷][6]、GIFアニメーションは[📷][7]を押しても表示できます。
- 画面設定画面が表示されます。

2 画面設定の種類を選んで[●]を押す。



- ［はい］を選んで[●]を押します。
- 画面の種類によっては、さらに項目を選びます。

静止画を編集する（スピーディラボ）

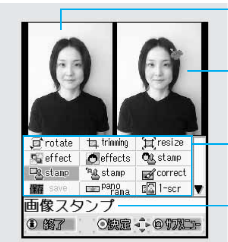
画像編集では、編集前と編集後の静止画を見比べながら、連続して編集できます。

- FOMA端末で撮影した静止画のサイズによっては、編集できない場合があります。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードおよびデータリンクソフトからインポートした静止画でも、画像によっては編集できない場合があります。
- 静止画にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集をくり返し行う場合、保存してから再び編集を行うと、画質が劣化することがあります。
- 画像編集することによって、データの容量が増加する場合があります。
- 編集後の画像をｉモードメールに添付して送信できます。（☞P.349）
- Flash画像は編集できません。

編集画面を表示する

1 待受画面で◉ 7 1 を押し、フォルダを選んで◉を押し、静止画を選んで📷📷を押す。

- 画像編集画面が表示されます。
- 静止画表示画面（☞P.342の操作３）で📷📷［画像編集］を押しても表示できます。
- カメラ撮影後の静止画プレビュー画面（☞P.173の操作２）で、📷📷［画像編集］を押しても表示できます。



編集画面

編集種別ボタン

編集種別ボタンを使うと、直接編集メニューを呼び出すことができます。

rotate	trimming	resize
画像回転（☞P.349）	画像切り出し（☞P.350）	サイズ変更（☞P.350）
effect	effects	stamp
画像エフェクト（☞P.352）	フェイスエフェクト（☞P.352）	フェイススタンプ（☞P.355）
stamp	stamp	correct
画像スタンプ（☞P.356）	文字スタンプ（☞P.357）	画像補正（☞P.351）
save	panorama	1-scr
保存（☞P.349）	パノラマ合成（☞P.357）	１画面表示（☞P.349）
cancel		
取消（☞P.348）		

※ 編集種別ボタンは機能や画面によって異なります。

■ 編集画面でのボタン操作

編集種別の選択方法には、次の３とおりの方法があります。

- 📷を押し、編集種別を選択する。
- ✣で編集種別ボタンを選択する。
- ダイヤルボタン（0～9、＊、＃）を押して選択する。
  （編集種別ボタンの並びは、ダイヤルボタンの並びに対応しています。）
  - ■ 画像編集後、続けて編集の種類を選択すると、同じ静止画を連続で編集できます。
  - ■ 編集の種類がグレー表示になっている場合は、操作できません。

■ 直前の操作を取り消す

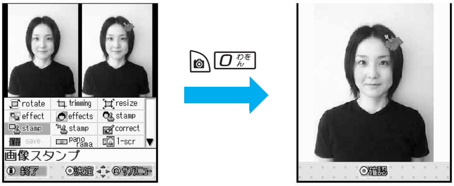
📷＃を押し、［はい］を選んで◉を押す。

- 直前に編集した静止画が編集前に戻ります。（何も編集していないときは操作できません。）
- 取消は１回のみ可能です。続けて取消操作を行うと、静止画が編集前の状態に戻ります。

1画面で表示する

編集した静止画を１画面で表示できます。編集を開始する前には、元の画像を１画面で表示します。

[0]を押す。



- フェイススタンプ、画像スタンプ、画像エフェクト、フェイスエフェクトの編集画面のときは、[0][0]を押します。
- １画面表示にしてから[view]を押すと、全画面表示に切り替わります。ビューアポジションのときは(シャッター）を１秒以上押します。全画面表示を解除するときは、[PWR HLD]以外のいずれかのボタンを押します。

お知らせ

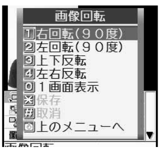
- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、静止画を再び表示したときに、編集中の静止画と異なって見える場合があります。

静止画を回転する＜画像回転＞

静止画を右左に90度ずつ回転したり、上下、左右に反転できます。

- サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、データリンクソフトからインポート（☞P.391）した静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は回転できません。

1 編集画面（☞P.348）で[1]を押し、回転の種類を選ぶ。



右回転（90度）	[1]
左回転（90度）	[2]
上下回転	[3]
左右回転	[4]

- ［回転処理中］と表示され、処理後の静止画が表示されます。

2 静止画を保存する。

静止画を保存する	［終了］→［はい］→●→[1]
タイトルを変更して保存する	［終了］→［はい］→●→[2]→タイトル入力→●→[1] ● 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
フォルダを変更して保存する	［終了］→［はい］→●→[3]→フォルダ→●→[1]
ｉモードメールに添付して作成する	［終了］→［はい］→●→[4]→ｉモードメール作成・送信 ● 静止画は自動的に保存されます。 ● 詳しくは、P.256の操作３～４を参照してください。
保存せずに別の編集をする	→編集種別番号
保存後に続けて編集する	[*][1]→→編集種別番号

お知らせ

- 画像切り出しやサイズ変更（☞P.350）した静止画は回転できますが、画質が劣化することがあります。
- 静止画を右回転または左回転すると、「アイコン：76×76」以外は縦横比が変わります。

静止画のサイズを修正する<画像切り出し>

アイコン設定用や待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを修正したり、切り出したりできます。

変更前の静止画サイズ	変更可能な静止画サイズ
アイコン：76×76	アイコン：76×76
sQCIF：128×96	アイコン：76×76、sQCIF：128×96
QCIF：176×144	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144
待受：240×320 CIF：352×288 VGA：480×640 1.2M：960×1280 UXGA：1200×1600 3M：1536×2048	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、待受：240×320

※ カメラ撮影サイズ以外に、miniSDメモリーカードや赤外線受信で取り込んだ、任意サイズの静止画も修正できますが、サイズによっては、修正できない場合もあります。

1 編集画面（☞P.348）で[カメラ][2]を押し、画像サイズを選ぶ。

- 元の静止画サイズによっては、修正できないサイズもあります。修正できないサイズは、グレー表示されます。

アイコン（76×76）	[1]
sQCIF（128×96）	[2]
QCIF（176×144）	[3]
待受（240×320）	[4]

- ［画像展開中］と表示され、修正後の静止画が表示されます。
- 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りない場合は、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。
- sQCIFの画像を編集（90度回転）すると、sQCIFに切り出すことができません。また、待受の画像を編集（90度回転）すると、アイコン（9分割）に切り出すことができません。

2 [方向キー]で切り出し部分を指定して[決定]を押す。

- [カメラ]を押して拡大したり、[メモ]を押して縮小してから[方向キー]で切り出し部分を指定できます。

3 静止画を保存する。（☞P.349の操作2）

静止画のサイズを変更する<サイズ変更>

デコメール用や待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを変更できます。

- サイズ変更しても縦横比は変更されません。縦横比が異なる画像をアイコンやテレビ電話代替画像に使用する場合は画像切り出しを利用してください。

変更前の静止画サイズ	変更可能な静止画サイズ
アイコン：76×76	sQCIF：128×96、QCIF：176×144、待受：240×320
sQCIF：128×96	アイコン：76×76、QCIF：176×144、待受：240×320、デコメール用
QCIF：176×144	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、待受：240×320、デコメール用
待受：240×320	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、デコメール用
CIF：352×288 VGA：480×640 1.2M：960×1280 UXGA：1200×1600 3M：1536×2048	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、待受：240×320、デコメール用

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

1 編集画面（☞P.348）で3を押し、画像サイズを選ぶ。



アイコン（76×76）	1
sQCIF（128×96）	2
QCIF（176×144）	3
待受（240×320）	4
デコメール用	5 ● 静止画は9000バイト以下に圧縮されます。「待受：240×320」サイズより大きい静止画は、「待受：240×320」サイズ以下に縮小されます。

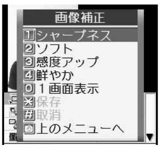
● ［サイズ変更中］と表示され、修正後の静止画が表示されます。
● 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りない場合は、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。

2 静止画を保存する。（☞P.349の操作２）

静止画を補正する<画像補正>

静止画にシャープネスやソフトなどの補正をかけることができます。
● サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、データリンクソフトからインポート（☞P.391）した静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
●「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は補正できません。

1 編集画面（☞P.348）で9を押し、補正の種類を選ぶ。



シャープネス	1	エッジを強調する
ソフト	2	エッジをぼかす
感度アップ	3	明るさ、およびコントラストをアップする
鮮やか	4	色彩度をアップする

● ［画像補正処理中］と表示され、補正後の静止画が右画面に表示されます。

2 静止画を保存する。（☞P.349の操作２）

お知らせ

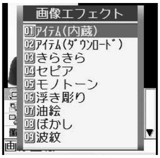
● 色の変化が少ないものなど、静止画によっては効果が表れにくいものもあります。

いろいろな効果をかける＜画像エフェクト＞

静止画の色あいやタッチを変えたり、フレームを付けたりできます。

- サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、データリンクソフトからインポート（☞P.391）した静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画に画像エフェクトを行うことはできません。

1 編集画面（☞**P.348**）で［カメラ］［4］を押し、エフェクトの種類を選ぶ。



アイテム（内蔵）	［0］［1］→フレーム→［i］［決定］	あらかじめ登録されているフレーム
アイテム（ダウンロード）	［0］［2］→フォルダ→［●］→フレーム→［i］［決定］	ダウンロードしたフレーム
きらきら	［0］［3］	光輝部を十字に輝かせる効果を表現
セピア	［0］［4］	セピア色で濃淡を表現
モノトーン	［0］［5］	モノトーンで濃淡を表現
浮き彫り	［0］［6］	メタル系シルバー色で立体感を表現
油絵	［0］［7］	油絵タッチで表現
ぼかし	［0］［8］	画像をぼかす
波紋	［0］［9］	波紋効果を付ける
魚眼	［1］［0］	魚眼レンズでの効果を表現

- ［エフェクト処理中］と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。

2 静止画を保存する。（☞**P.349**の操作２）

お知らせ

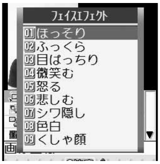
- 静止画によって効果に差があります。
- 画像切り出し（☞P.350）やサイズ変更（☞P.350）した静止画にフレームを付けると、画質が劣化することがあります。

顔を装飾する＜フェイスエフェクト＞

人物の顔の静止画に喜怒哀楽の表情を付けることができます。

- フェイスエフェクトを使っての画像編集、または編集後の静止画をｉモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイスエフェクトには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- フェイスエフェクトは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報を元にエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次の静止画の場合はご注意ください。
  ピントが合っていない、首を傾けている、暗い、目が髪で隠れている、口が開いている、メガネをかけている、ヒゲを生やしているなど
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画にはフェイスエフェクトをかけられません。

1 編集画面（☞P.348）で[カメラ]5を押し、エフェクトの種類を選ぶ。



ほっそり	0 1
ふっくら	0 2
目ぱっちり	0 3
微笑む	0 4
怒る	0 5
悲しむ	0 6
シワ隠し	0 7
色白	0 8
くしゃ顔	0 9
左右対称顔（右）	1 0
左右対称顔（左）	1 1
位置修正	1 2 ● 各部の輪郭を手動で設定します。次項「■ 各部の輪郭情報を手動で設定する」を参照してください。

- 顔の輪郭情報を自動抽出し、［エフェクト処理中］と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。
- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できないときは、[カメラ]#を押し、［はい］を選んで●を押すと、編集前の画像に戻ります。[カメラ]5 1 2を押し、輪郭情報を手動で設定してください。詳しくは、次項「■ 各部の輪郭情報を手動で設定する」を参照してください。

2 静止画を保存する。（☞P.349の操作２）

■ 各部の輪郭情報を手動で設定する

顔の輪郭、画面上の右の目の輪郭、画面上の左の目の輪郭、口の輪郭を順番に設定してエフェクトをかけます。

各部分の輪郭を設定するには✣を押して［+］カーソルを移動させます。

- ［+］カーソルは画像エリア内のみで移動します。
- 顔の輪郭は赤色、画面上の右の目の輪郭は青色、画面上の左の目の輪郭は緑色、口の輪郭は黄色の枠で示されます。
- 輪郭情報は、プチエステ（☞P.358）でも利用されます。

1 編集画面（☞P.348）で[カメラ]5 1 2を押し、顔の輪郭を指定する。



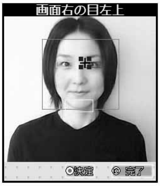
✣で輪郭の左上に［+］カーソルを合わせ、●を押す。



✣で輪郭の右下に［+］カーソルを合わせ、●を押す。

次ページへ続く

2 画面上の右の目の輪郭を指定する。

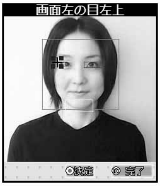


で輪郭の左上に［+］カーソルを合わせ、を押す。

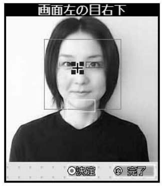


で輪郭の右下に［+］カーソルを合わせ、を押す。

3 画面上の左の目の輪郭を指定する。

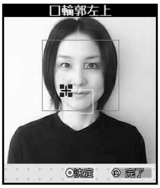


で輪郭の左上に［+］カーソルを合わせ、を押す。

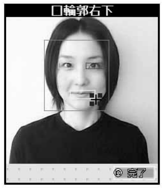


で輪郭の右下に［+］カーソルを合わせ、を押す。

4 口の輪郭を指定する。



で輪郭の左上に［+］カーソルを合わせ、を押す。



で輪郭の右下に［+］カーソルを合わせる。

5 ［完了］を押し、静止画を保存する。（☞**P.349**の操作２）

お知らせ

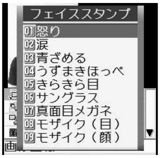
- を押し続けると［+］カーソルを連続して移動させることができます。
- 設定した顔の輪郭情報は、編集した画像を保存したときに、保存されます。画像を保存しないと、輪郭情報の設定は元に戻ります。次回画像編集を行うときは、この輪郭情報を元に画像編集が行われます。

顔スタンプを貼り付ける＜フェイススタンプ＞

顔の各部に涙やサングラス、うずまきほっぺなど、装飾用の静止画を貼り付けることができます。

- フェイススタンプを使っての画像編集、または編集後の画像をｉモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイススタンプには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- フェイススタンプは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報を元にエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置情報や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次の静止画の場合はご注意ください。ピントが合っていない、首を傾けている、暗い、目が髪で隠れている、口が開いている、メガネをかけている、ヒゲを生やしているなど
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画はフェイススタンプを貼り付けできません。

1 編集画面（☞**P.348**）で[カメラ][6]を押し、スタンプの種類を選ぶ。



怒り	[0][1]
涙	[0][2]
青ざめる	[0][3]
うずまきほっぺ	[0][4]
きらきら目	[0][5]
サングラス	[0][6]
真面目メガネ	[0][7]
モザイク（目）	[0][8]
モザイク（顔）	[0][9]
位置修正	[1][0] ● 各部の輪郭を手動で設定します。（☞P.353）

- 顔の輪郭情報を自動抽出し、［エフェクト処理中］と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。
- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できないときは、[カメラ][#]を押し、［はい］を選んで[●]を押すと、編集前の画像に戻ります。[カメラ][6][1][0]を押し、輪郭情報を手動で設定してください。詳しくは、P.353を参照してください。

2 静止画を保存する。（☞**P.349**の操作２）

お知らせ

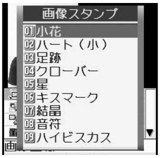
- 画像切り出し（☞P.350）やサイズ変更（☞P.350）した静止画にフェイススタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

画像スタンプを貼り付ける＜画像スタンプ＞

静止画に星や花、キスマークなど、あらかじめ登録されている画像スタンプやダウンロードした画像スタンプを貼り付けできます。

- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は画像スタンプを貼り付けできません。

1 編集画面（☞**P.348**）で📷7を押し、画像スタンプの種類を選ぶ。



小花	0 1
ハート（小）	0 2
足跡	0 3
クローバー	0 4
星	0 5
キスマーク	0 6
結晶	0 7
音符	0 8
ハイビスカス	0 9
合格	1 0
バラ	1 1
虹	1 2
吹き出し	1 3
流れ星	1 4
ハート（大）	1 5
スタンプ（ダウンロード）	1 6→フォルダ→●→スタンプ→📱［決定］

- 画像スタンプが表示されます。
- ✥を押すと、画像スタンプの貼り付け位置を調整できます。
- 画像スタンプを選び直すときは、CLRを押します。CLRを押す前に選んでいたスタンプは削除されます。

2 ●［貼付］を押す。

- 続けて同じ画像スタンプを貼り付けるときは、貼り付け位置を調整して●を押します。

3 📱［完了］を押し、静止画を保存する。（☞**P.349**の操作２）

お知らせ

- 画像切り出し（☞P.350）やサイズ変更（☞P.350）した静止画に画像スタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

文字スタンプを貼り付ける<文字スタンプ>

静止画に入力した文字や日付を貼り付けできます。

- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は文字スタンプを貼り付けできません。

1 編集画面（☞**P.348**）で[カメラ][8]を押し、文字スタンプを選ぶ。



フリーワード	[1]→文字を入力→[●] ● 全角11文字（半角22文字）まで入力できます。文字が画面の幅を超える場合は、途中まで入力されます。（改行できません。）
日付	[2]

- [方向キー]を押すと、文字の貼り付け位置を調節できます。
- 文字はオレンジ色で表示されます。
- 文字サイズを変更するときは、[i]［サイズ］を押します。押すたびに文字サイズが、20ドット→24ドット→30ドット→48ドット（縦倍角）→12ドット→16ドット→20ドットの順に変更されます。
- 文字サイズを変更すると文字の貼り付け位置は中央に戻ります。

2 [●]を押し、静止画を保存する。（☞**P.349**の操作２）

お知らせ

- 画像切り出し（☞P.350）やサイズ変更（☞P.350）した静止画に文字スタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

２枚の静止画を１枚の画像に合成する<パノラマ合成>

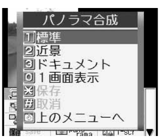
２枚の静止画を合成して、１枚のパノラマ画像を作成できます。

- 色味が異なる２枚の静止画をパノラマ合成すると、うまく合成されない場合があります。
- 「待受：240×320」サイズの静止画のみ合成できます。



１枚目静止画　２枚目静止画　パノラマ画像

1 左側に配置する静止画の編集画面を表示し、[カメラ]を押し、［■パノラマ合成］を選んで[●]を押す。



データ表示／編集／管理

次ページへ続く

2 合成の種類を選ぶ。

標準	1	パノラマ合成の標準モードです。通常はこちらを使用してください。風景など、遠距離で撮影した画像の合成に適しています。
近景	2	近くのものを撮影したときに発生する視差の影響を補正した上で、合成を行います。近距離の画像を合成するときに、標準モードでは思ったような合成ができなかった場合に使用してください。
ドキュメント	3	近くにある看板や時刻表等、カメラを横方向に移動させて撮影した画像を合成するのに適しています。

● データBOXのマイピクチャのフォルダ一覧画面が表示されます。
● 合成の種類を選び直すときは、CLRを押します。操作1の画面に戻ります。

3 フォルダを選んで●を押し、右側に配置する静止画を選んで［決定］を押す。

● 右側に配置する静止画を確認してから合成するときは、静止画を選んで●［確認］を押し、●［決定］を押します。
● ［画像合成中］と表示され、合成した静止画が表示されます。
● ［入替］を押すと、左右の画像を入れ替えることができます。

4 ●を押し、静止画を保存する。（☞P.349の操作2）

● 合成する静止画を選び直すときは、CLRを押し、静止画を選びます。

お知らせ

● 画像切り出し（☞P.350）やサイズ変更（☞P.350）した静止画をパノラマ合成すると、画質が劣化することがあります。

人物の顔をメークアップする<プチエステ>

人物の顔（静止画）に、美白やナチュラルのメークアップ効果をかけることができます。

● 効果をかけられる静止画のサイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「待受：240×320」、「CIF：352×288」、「VGA：480×640」です。

1 待受画面で●71を押し、フォルダを選んで●を押し、静止画を選んでを押す。



2 を押し、効果の種類を選ぶ。



美白	1	肌を白く美しくします。
ナチュラル	2	肌を自然に、健康的にします。

● ［プチエステ処理中］と表示され、処理後の静止画が表示されます。

3 ●を押し、静止画を保存する。（☞P.349の操作2）

データ表示／編集／管理

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

お知らせ

- 静止画によって効果に差があります。

ビデオプレーヤ

動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末で撮影した動画やボイスレコーダーで録音した音声、サイトやインターネットホームページから取得したｉモーションは、データBOXのｉモーションに保存され、ビデオプレーヤで再生できます。

- 動画／ｉモーションをテレビ画面に表示することもできます。（☞P.474）
- ビデオ録画（☞P.455）でminiSDメモリーカードに保存した映像を再生することもできます。



- 全画面表示にすると、デスクトップスタイルで、楽しむことができます。

1 待受画面で●7 2を押す。



- TOPメニューから（データBOX）→［ｉモーション］の順に選択することもできます。
- 待受画面でを１秒以上押したあと、［→ｉモーション］を押しても表示できます。
- 動画／ｉモーションのフォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選んで●を押す。



- 動画／ｉモーションの画像一覧画面が表示されます。
- 動画撮影画面（☞P.170）などで、2を押しても表示できます。
- 画像一覧表示を切り替えるときは、9を押し、1［９分割表示］または2［16分割表示］、3［リスト表示］を押します。
- 次のページを表示するときは、を押します。
- 前のページを表示するときは、を押します。
- miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションを確認するときは、#を押します。再びFOMA端末（本体）の動画／ｉモーションを確認するときは、#を押します。
- ASFファイルの情報を表示するときは、［詳細］を押します。

データ表示／編集／管理

次ページへ続く

3 動画／ｉモーションを選んで◉を押す。

- 再生中に◉を押すと、一時停止します。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合、画面には固定のアニメーションが表示されます。
- マナーモードを設定しているときは、［マナーモード中です　音を再生しますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押すと、再生されます。映像のみの場合は表示されません。

デスクトップスタイルで再生する	一時停止中または停止中に view（ビューアポジションのときは（シャッター）を1秒以上） ● 横方向の全画面表示で再生されます。全画面表示中に一時停止して view（ビューアポジションのときは（シャッター）を1秒以上）を押したり、停止すると、元の表示サイズに戻ります。 ● 全画面表示中は上下と左右の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持った状態で操作してください。
音量を調節する	（下げる）または（上げる）
早送りする	を押し続ける。 ● ボタンから指を離した時点で、再生します。
早戻しする	を押し続ける。 ● ボタンから指を離した時点で、再生します。
一時停止する	◉［一時停止］ ● もう一度◉［再生］を押すと、続きを再生します。 ● 一時停止中にを押すとコマ送り、を押すとコマ戻しできます。 ● 一時停止中に1～9を押すと、ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプします。※
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプする	1～9 ● ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプして、再生を開始します。※
次の動画／ｉモーションを再生する	
前の動画／ｉモーションを再生する	

※ 1を押すと再生中の動画／ｉモーションの先頭に戻ります。2～9を押すと録画時間の約1／9ずつ先の位置にジャンプします。ただし、録画時間が短い場合は、ジャンプしないときがあります。

- 再生可能な動画／ｉモーションの種類は次のとおりです。動画／ｉモーションの種類は情報表示で確認できます。

ファイル形式		符号化方式
MP4 （拡張子：「.mp4」「.3gp」）	画像	MPEG-4、H.263
	音声	AMR（8kHz）、AAC（8kHz/16kHz/32kHz/44.1kHz/48kHz）
ASF （拡張子：「.asf」）	画像	MPEG-4
	音声	AMR、G.726（16～32kbps）

- 再生可能な動画／ｉモーションの画像サイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「QQVGA：160×120」、「hQVGA：240×176」、「QVGA：320×240」です。

再生状態のマークの見かた

トラック情報表示	映像＋音声＋テキスト		バッファリング中表示（標準タイプ・ストリーミングタイプ）	
	映像＋音声		ダウンロード未完了	
	映像＋テキスト		リピート再生	
	音声＋テキスト		再生中照明設定	
	映像のみ		拡大再生中表示	
	音声のみ		サラウンド再生可ファイル	
	テキストのみ		サラウンド設定ON	

- 画面右下に、映像非対応および音声非対応の場合は［ ］が表示されます。

お知らせ

- 再生中に一時停止をした場合、再生を再開するときに一時停止した位置とは少しずれた位置から再生されることがあります。また、アラーム動作があった場合、再生は中止されます。
- 動画／ｉモーションを一時停止してサブメニューを選んだ場合、メニューや再生中のデータによっては少し戻った位置から再生を開始することがあります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

お知らせ

- データによっては1～9を押しても指定した位置にジャンプできないデータや位置があります。
また、コマ送り・コマ戻しで、一部画像を表示できない場合があります。
- 外部機器でminiSDメモリーカードに保存した動画もFOMA端末で再生できます。（☞P.583）
- 再生中にFOMA端末を閉じても、再生は継続されます。
- 現在の動画／ｉモーションの参照先（FOMA端末（本体）またはminiSDメモリーカード）は、ビデオプレーヤをいったん終了しても記録され、次回、ビデオプレーヤを起動したときにも同じ参照先となります。

データBOXのｉモーションに保存した動画／ｉモーションは、パソコンをお持ちの場合、miniSDメモリーカード（☞P.381）を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データ BOXのｉモーションに登録してある動画／ｉモーションが消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

動画／ｉモーションを再生中に音声電話やテレビ電話がかかってくると

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。再生は中止され、通話終了後に、動画／ｉモーションの停止画面に戻ります。FOMA端末（本体）に保存されたMP4／ASFファイルの場合は、miniSDメモリーカード側でレジューム再生を［する］に設定しても、再生を中止したところから再生できません。

関連操作

リピート再生する<リピート再生>

再生中にm1

- 通常の再生に戻すとき：m1
- 再生を中止するとき：CLR

表示サイズを切り替える<表示サイズ切替>

1 再生中にm2

2 拡大するときは2

- 等倍にするとき：1

ライトアップする<ライトアップ>

再生中にm▶［■ライトアップ］▶●

- または#（1秒以上）
- 消すとき：同じ操作をする

コマ送りの幅を設定する<送り幅指定>

1 再生中にm▶［■送り幅指定］▶●

- 映像編集画面（☞P.367）で設定するとき：m0

2 送り幅を細かくするときは2

- 送り幅を大まか（高速）にするとき：1

音声のサラウンドを設定する<サラウンド設定>

1 再生中にm▶［■サラウンド設定］▶●

2 サラウンドにするときは1

- サラウンドにしないとき：2

再生時の照明を設定する<再生中照明設定>

1 「動画／ｉモーションを再生する」（☞P.359）の操作1の画面でm7

2 常にONにするときは2

- 照明設定に従うとき：1

再生時の音量を設定する<再生音量設定>

1 「動画／ｉモーションを再生する」（☞P.359）の操作1の画面でm6

- 操作2の画面で設定するとき：m0

2 ↑（上げる）／↓（下げる）▶●

レジューム再生するかどうかを設定する<レジューム再生設定>

1 「動画／ｉモーションを再生する」（☞P.359）の操作2の画面でm#▶フォルダ▶●▶動画／ｉモーション▶m▶［■レジューム再生設定］▶●

2 レジューム再生するときは1

- レジューム再生しないとき：2

次ページへ続く

関連操作

お知らせ

リピート再生について

- 再生回数に制限のあるデータは、リピート再生できません。
- リピート再生が開始される前の３秒間に[1]～[9]／[0]／[*]／[#]／[AF]／[]／[]／[○]のボタンを押すと、リピート再生は停止します。（ただし、[*]／[#]／[AF]／[CLR]／[view]／[]／[]／[]／[]／[○]／[○]／[●]のボタンを１秒以上押すと再生は継続されます。）
- リピート再生を終了するときは、[CLR]または[PWR/HLD]を押します。

表示サイズ切替について

- 画像サイズが「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」（テロップなし）、「QQVGA：160×120」の場合、表示サイズを［拡大］に切り替えることができます。
- 電源を切っても再生サイズの設定は保持されます。
- お買い上げ時は、［等倍］に設定されています。

照明について

- 再生中照明設定（☞P.361）を［照明設定に従う］に設定しているときは照明時間設定（☞P.133）で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- 再生中照明設定を［常にON］に設定しているときは、動画／ｉモーションを終了するまで照明時間設定（☞P.133）で設定した時間が経過してもバックライトは消灯しません。ただし、ライトアップ時は設定した時間が経過するとバックライトが消灯します。
- ライトアップ時は、ディスプレイの明るさの設定（☞P.135）にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

コマ送りの幅の設定について

- お買い上げ時は、［大まか（高速）］に設定されています。
- 電源を切っても設定は保持されます。
- 映像のない動画は、［細かい］に設定しても無効となり、［大まか（高速）］でコマ送りされます。
- 一部、［細かい］に設定しても無効となり、［大まか（高速）］でコマ送りされる動画があります。
- 映像編集画面で編集中のデータサイズが500Kバイトを超える場合、コマ送り幅は［大まか（高速）］となります。

サラウンド設定について

- ビデオプレーヤを起動すると、ステレオ効果設定（☞P.123）を［サラウンド］に設定している場合は［ON］、［サラウンド］以外に設定している場合は［OFF］で再生されます。再生中にサラウンド設定で、サラウンドの［ON］／［OFF］を切り替えることができますがその設定はステレオ効果設定には反映されません。
- サラウンド再生できるのは、MP4形式で音声の符号化方式がAAC（44.1kHz）の動画／ｉモーションです。

再生中照明設定について

- お買い上げ時は、［照明設定に従う］に設定されています。（☞P.133）

再生時音量設定について

- お買い上げ時は、［音量７］に設定されています。

レジューム再生について

- お買い上げ時は、［する］に設定されています。
- レジューム再生は、miniSDメモリーカードに保存されている動画／ｉモーションが対象となります。
- レジューム再生を［する］に設定すると、miniSDメモリーカードに保存された動画／ｉモーションを再生中に着信などで中断した場合、再生を中止したところから再生を開始できます。
- ［ミュージック・ボイス］フォルダの動画／ｉモーションは設定できません。
- miniSDメモリーカードに、動画／ｉモーションが保存されていない場合、レジューム再生設定はできません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

ｉモーションフォルダ一覧画面／画像一覧画面の見かた

ｉモーションフォルダ一覧画面の見かた

FOMA端末（本体）



- FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
- サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで入手した動画／ｉモーション用フォルダおよびボイスレコーダーで録音した音声用フォルダ
- お客様が作成できるフォルダ（☞P.392）

miniSDメモリーカード

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、ｉモーション画面で[📷][#]を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。



- FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
- お客様が作成できるフォルダ（☞P.389）
- 映像・音声切替を音声のみ、保存先をminiSDメモリーカードに設定して撮影した動画用フォルダおよびボイスレコーダーで録音した音声用フォルダ
  - ［ミュージック・ボイス］フォルダに保存された動画は、別のフォルダに移動できません。
  - ［ミュージック・ボイス］フォルダのフォルダ名変更、フォルダ削除はできません。
  - ［ミュージック・ボイス］フォルダに保存された動画にはタイトル名がないため、タイトル編集はできません。
  - ［ミュージック・ボイス］フォルダには最大100件まで保存でき、VOICE001～VOICE100までのファイル名が付きます。ファイル形式はMP4です。

画像一覧画面の見かた

画像一覧画面は、［９分割表示］［16分割表示］［リスト表示］のいずれかで表示できます。



９分割表示



16分割表示



リスト表示

- ９分割表示や16分割表示では、動画／ｉモーションの種類が次のいずれかに該当する場合は、画像の代わりに［♪］［iM］が表示されます。
  - ■ 音声のみまたはテキストのみのデータ
  - ■ 画像ファイル形式が非対応のデータ
  - ■ 画像サイズが非対応のデータ
  - ■ 画像が表示できない（壊れている）データ

■ 動画／ｉモーション情報マークの見かた

	Mobile MP4		MP4		ASF
	再生制限なし	再生制限あり	再生制限なし	再生制限あり	－
保護設定なし					
保護設定あり					
撮影画像		－		－	－

- FOMAカード動作制限機能が設定されたｉモーションには、［ ］（保護設定なし）、［ ］（保護設定あり）が表示されます。
- 待受画面、ピクチャーコールや着信音、指定着信音、アラーム、スケジュールアラーム、ToDoアラームに設定した動画／ｉモーションには、［ ］が表示されます。
- ファイル制限されている動画／ｉモーションには、［ ］が表示されます。
- ｉモードなどで取得した動画／ｉモーションには［ ］が、miniSDメモリーカードで取得した動画／ｉモーションには［ ］が表示されます。
- カメラ撮影した動画には［ ］が表示されます。
- キャラ電撮影した動画には［ ］が表示されます。

関連操作

リスト画面の表示方法を変更する<表示切替>

「動画／ｉモーションを再生する」（☞P.359）の操作２の画面で 9 ▶表示方法▶

お知らせ

リスト画面の表示方法変更について

- お買い上げ時は、［９分割表示］に設定されています。
- 動画／ｉモーションのタイトル名は、最大全角31文字（半角63文字）まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字（半角14文字）です。

動画を連続して再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のすべての動画／ｉモーションを連続して再生できます。

1 待受画面で 7 2 を押し、フォルダを選んで 5 を押す。

- 再生中に を押すと、一時停止します。
- 再生中に ［停止］を押すと、停止します。 を押すと、停止した動画／ｉモーションの先頭から再生し、連続再生は継続されます。
- 再生期間制限、再生期限制限のある動画／ｉモーションはメッセージが表示されます。
- 連続再生時は全画面表示に切り替えできません。

■ 連続再生の設定をする

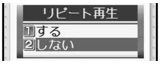
動画／ｉモーションを連続再生するときの設定を行います。

設　定	内　容	お買い上げ時
リピート再生	くり返し再生するかどうかを設定します。設定内容はすべてのフォルダに反映されます。	しない
ダイジェスト再生	それぞれの動画の最長再生時間を設定します。（つなぎ目の時間は含みません。）設定内容はすべてのフォルダに反映されます。	しない
つなぎ目効果設定	動画と動画の間のつなぎ目の効果を設定します。miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションのフォルダのみに設定できます。ただし、［ミュージック・ボイス］フォルダには設定できません。フォルダごとに設定します。	ランダム
AV出力切替	連続再生時の映像をテレビ画面に表示します（☞P.474）。設定内容はすべてのフォルダに反映されます。	－

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

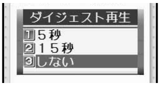
リピート再生するとき

待受画面で●[7][2]を押し、フォルダを選んで[📷][4][1]を押し、[1]［する］を押す。



ダイジェスト再生するとき

1 待受画面で●[7][2]を押し、フォルダを選んで[📷][4][2]を押す。



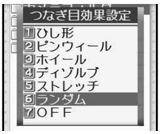
2 再生時間を選ぶ。

５秒	[1]
15秒	[2]
ダイジェスト再生しない	[3]

つなぎ目効果を設定するとき

● miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションのフォルダのみに設定できます。

1 待受画面で●[7][2][📷][#]を押し、フォルダを選んで[📷][4][3]を押す。



2 効果の種類を選ぶ。

ひし形	[1]	次の画像が、中から外へ、ひし形が大きくなるようにして切り替わります。
ピンウィール	[2]	次の画像が、回転しながら大きくなって切り替わります。
ホイール	[3]	次の画像が、中心から回転するように広がって切り替わります。
ディゾルブ	[4]	次の画像が、細かい粒子状に浮かび上がって切り替わります。
ストレッチ	[5]	次の画像が、中心から縦方向に広がりながら切り替わります。
ランダム	[6]	効果の種類がランダムに選択されて反映されます。
OFF	[7]	つなぎ目効果を設定しません。

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを送信する<ｉモーションメール>

動画／ｉモーションを、ｉモードメールに添付して送信できます。

● 送信できる動画／ｉモーションのファイルサイズは、最大500Kバイト（512000バイト）です。
● 送信できる動画／ｉモーションのファイル形式は、Mobile MP4です。
● 送信できる画像サイズは、「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」です。

1 待受画面で◉[7][2]を押し、フォルダを選んで◉を押し、動画／ｉモーションを選んで[i]［メール］を押す。



● メール作成画面が表示されます。選択した動画／ｉモーションが添付されます。
● 300Kバイトを超える動画／ｉモーションのときは、［メール用（短）］と［メール用（長）］の選択画面が表示されます。
● ［メール用（短）］を選んで◉を押すと、先頭から約290Kバイトが自動的に切り出されます。
● ［メール用（長）］を選んで◉を押すと、500Kバイトを超える場合は先頭から約490Kバイトが自動的に切り出されます。300Kバイトを超え、500Kバイト以下の動画／ｉモーションはそのまま添付されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

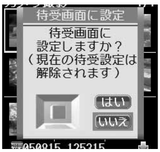
● 詳しくは、P.255の操作2～4を参照してください。

動画／ｉモーションを待受画面に設定する<待受画面に設定>

動画／ｉモーションを、待受画面に設定できます。

● 待受画面にGIFアニメーション、Flash画像やｉモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。

1 待受画面で◉[7][2]を押し、フォルダを選んで◉を押し、動画／ｉモーションを選んで[📷][5]を押す。



● 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）やファイル形式がASFの動画／ｉモーションを待受画面に設定することはできません。
● 画像サイズが「QQVGA：160×120」の動画／ｉモーションは、待受画面に設定できません。
● miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションは、待受画面や着信音などに設定できません。

2 ［はい］を選んで◉を押し、表示方法を選ぶ。

等倍表示する	[1]
拡大表示する	[2]

● 画像サイズが「sQCIF：128×96」と「QCIF：176×144」以外のときは、拡大表示できません。

お知らせ

● 動画／ｉモーションを着モーションに設定する方法については、P.118を参照してください。
● ｉモーションによっては、待受画面に設定できないものがあります。
● ｉモーション待受画面から、Phone To（AV Phone To）機能、Mail To機能、Web To機能はご利用になれません。
● 待受画面に設定した動画／ｉモーションの音量は、オープン音の音量（☞P.122）で設定できます。
● miniSDメモリーカードから、FOMA端末本体にコピーまたは移動したもの（FOMA端末本体からminiSDメモリーカードにコピーまたは移動してから、もう一度FOMA端末本体にコピーまたは移動したものを含む）は、着モーションや着信画像に設定できません。

動画を編集する（スピーディラボ）

撮影した動画を編集できます。
- FOMA SH901iS以外で撮影した動画は、編集できない場合があります。

映像編集画面を表示する

1 待受画面でを押し、フォルダを選んでを押し、動画を選んでを押す。



映像編集画面

- 映像編集画面が表示されます。このとき、ファイルの先頭の映像が表示されます。
- 動画再生中（☞P.359）に［映像編集］を押しても、動画が一時停止して映像編集画面が表示されます。
- を押して、コマ送り／戻しできます。このとき、音声は再生されません。
- 〜を押すと、指定した位置にジャンプします。

編集種別マークの見かた

	静止画キャプチャ（☞P.369）		映像カッター（☞P.368）	ABCD	テロップ編集（☞P.369）
	アフレコ編集（☞P.370）	EFFECT	エフェクト挿入（☞P.371）		サイズ変換（☞P.371）

■ 映像編集画面でのボタン操作

編集種別の選択方法には、次の方法があります。
- を押し、編集種別を選択する。
- で編集種別マークを選択する。

お知らせ

- 映像編集後、続けて編集の種類を選択すると、同じ動画を連続で編集できます。
- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみテロップ編集、アフレコ編集、エフェクト挿入ができます。
- ファイルサイズが500Kバイトを超えるときは、テロップ編集、アフレコ編集、エフェクト挿入を行うことはできません。

関連操作

テロップを表示しないようにする<テロップ表示>

1 映像編集画面で▶［■テロップ表示］▶
2
- テロップを表示するとき：

詳細情報を表示する<情報表示>

映像編集画面で
- 確認を終わるとき：［確認］

お知らせ

テロップ表示について
- お買い上げ時は、［ON］に設定されています。

データ表示／編集／管理

動画を切り取る<映像カッター>

動画の一部を切り取り、新しい動画として保存します。

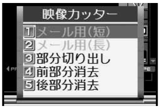
- テロップが付いている場合、テロップの始点から終点までが切り取る範囲に含まれていないと、テロップは削除されます。

動画の始点と終点を指定して切り取る

始点と終点を指定して切り取ります。

- 3秒未満の動画は切り取りできません。

1 映像編集画面（☞P.367）で[カメラ][2]を押し、切り取り方法を選ぶ。

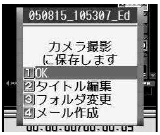


- ◎を押してコマ送り／戻しをできます。1秒以上押すと、早送り／早戻しします。
- 終点を始点と同じ位置、または始点より前の位置に指定することはできません。

始点と終点を指定して切り取る	[3]→[i]［始点］→[i]［終点］→◉［確認］
始点からファイルの最後までを切り取る	[4]→[i]［始点］→◉［確認］
ファイルの最初から終点までを切り取る	[5]→[i]［終点］→◉［確認］

- 映像編集画面に戻ります。

2 動画を保存する。



編集した動画を保存する	[カメラ][8][1]
タイトルを変更して保存する	[カメラ][8][2]→タイトル入力→◉→[1] ● 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
保存するフォルダを変更して保存する	[カメラ][8][3]→フォルダ→◉→[1] ● miniSDメモリーカード内の動画の場合、フォルダを変更できないことがあります。
編集した動画を再生する	[i]［プレビュー］
iモードメールに添付して送信する	[カメラ][8][4]→iモードメール作成・送信 ● 動画は自動的に保存されます。 ● 詳しくは、P.256の操作3～4を参照してください。
編集した動画を保存しない	[カメラ][9]→［はい］→◉

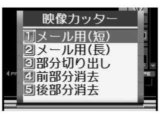
- 編集した動画の画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」で、ファイルサイズが300Kバイトを超えるときは、メール添付用に変換するかどうかの選択画面が表示されます。［メール用（短）］を選んで◉を押すと、先頭から約290Kバイトが自動的に切り出されます。［メール用（長）］を選んで◉を押すと、先頭から約490Kバイトが自動的に切り出されます。そのまま保存するときは、［何もしない］を選んで◉を押します。

動画からメール用に切り出す

iモードメール添付用に、動画を切り出します。

- ［メール用（短）］は、指定した位置から約290Kバイトまでを自動的に切り出します。
- ［メール用（長）］は、指定した位置から約490Kバイトまでを自動的に切り出します。
- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみ切り出しできます。

1 映像編集画面（☞P.367）で[カメラ][2]を押し、切り出し方法を選ぶ。



［メール用（短）］を選ぶ	[1]
［メール用（長）］を選ぶ	[2]

- ◎を押してコマ送り／戻しをできます。1秒以上押すと、早送り／早戻しします。

データ表示／編集／管理

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

2 切り取る始点でi［始点］を押し、●［確認］を押す。

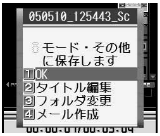
3 動画を保存する。（☞P.368の操作２）

動画を静止画として保存する<静止画キャプチャ>

動画の一場面を、静止画として保存できます。保存した静止画はFOMA端末で撮影した静止画と同様に扱うことができます。また、ｉモードメールに添付して送信することもできます。

- 静止画キャプチャした静止画は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード・その他］フォルダに保存されます。
- 映像のないデータは、静止画キャプチャできません。

1 映像編集画面（☞P.367）で、◉で静止画として保存したい場面を選び、📷1を押す。



2 1［OK］を押す。

- 動画の一場面が静止画として保存されます。
- 保存画面での操作方法については、P.349「静止画を回転する<画像回転>」の操作２を参照してください。

動画のテロップを編集する<テロップ編集>

動画を再生中に、テロップを付けたいところで一時停止して、１ファイルにつき、最大５個のテロップを付けることができます。

文字の色やサイズを変更したり、背景に色を付けるなどの装飾ができます。

- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみテロップ編集できます。
- １秒未満のデータ、500Kバイトを超えるデータや映像のないデータは、テロップ編集できません。

1 映像編集画面（☞P.367）で📷3を押す。



- すでにテロップが付いている動画の場合、［現在のテロップをすべて削除します　よろしいですか？］と表示されます。削除する場合は、［はい］を選んで●を押します。［いいえ］を選んで●を押すと、現在のテロップを残したままテロップ編集できます。

2 ●［再生］を押し、テロップを入れる場面で●［一時停止］を押し、i［始点］を押す。

- i［始点］を押す前に◉を押してコマ送り／戻しをして位置を調整できます。１秒以上押すと、早送り／早戻しします。
- テロップ入力画面が表示されます。

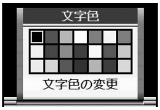
3 文字を入力して（☞P.544）●を押す。

- 最大全角20文字（半角40文字、絵文字、改行も含む）まで入力できます。

データ表示／編集／管理

次ページへ続く

4 📷📷を押し、装飾の種類を選んで●を押し、装飾内容を指定する。



● デコレーションメニュー画面が表示されます。

装飾の種類

装飾の種類	装飾内容の指定
文字色	文字色▶●
背景色	背景色▶●
アンダーライン	1［引く］／2［引かない］
点滅	1［する］／2［しない］
文字サイズ	1［文字→小］／2［文字→大］
文字表示位置	1［左］／2［中央］／3［右］
スクロールイン	1［する］／2［しない］
スクロールアウト	1［する］／2［しない］
スクロール方向	1［←（右から左）］／2［→（左から右）］／3［↑（下から上）］／4［↓（上から下）］

● 入力した文字に装飾が反映されます。

5 テロップ編集を完了する。

編集を完了する	📷1
再び文字を編集する	📷2→操作3～4（くり返し）
装飾を削除する	📷3→［はい］→●
テロップを削除する	📷4→［はい］→●
他のところにテロップを付ける	操作2～4（くり返し）

6 動画を保存する。（☞P.368の操作2）

動画をアフレコ編集する<アフレコ編集>

動画に音声を付けることができます。動画を再生しながら吹き込みます。音声は送話口から録音されます。
● 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみアフレコ編集できます。
● 1秒未満のデータ、500Kバイトを超えるデータや映像のないデータは、アフレコ編集できません。
● 別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク接続時は、イヤホンマイクから録音できます。

1 映像編集画面（☞P.367）で📷4を押す。



● 映像のみで撮影した動画のときは、操作3に進みます。

2 ［はい］を選んで●を押す。

● ファイルの最初で一時停止します。
● ファイルの途中からアフレコ編集を開始することはできません。

3 ●［録音］を押し、録音が終了したら●［完了］を押す。

● 映像に合わせて音声を吹き込みます。
● 録音中に一時停止、早送り、早戻し、コマ送り、コマ戻しはできません。
● 動画が終了するまで録音すると、自動的に完了します。

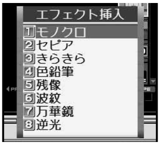
4 動画を保存する。（☞P.368の操作2）

動画全体に効果をかける＜エフェクト挿入＞

動画の色あいやタッチを変えることができます。

- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみ編集できます。
- 500Kバイトを超えるデータや映像のないデータは、エフェクト挿入できません。

1 映像編集画面（☞P.367）で📷5を押し、エフェクトの種類を選ぶ。



モノクロ	1
セピア	2
きらきら	3
色鉛筆	4
残像	5
波紋	6
万華鏡	7
逆光	8

2 動画を保存する。（☞P.368の操作2）

動画のサイズを変換する＜サイズ変換＞

メール添付できるように動画のサイズを変換します。変換後は画質が［NORMAL］で画像サイズが「QCIF：176×144」になります。また、先頭から約490Kバイトまでを自動的に切り出します。

- 画像サイズを「QVGA：320×240」、「hQVGA：240×176」に設定して撮影した動画、または画像サイズを「QCIF：176×144」、画質を［SUPER FINE］に設定して撮影した動画のみ変換できます。

1 映像編集画面（☞P.367）で📷6を押し、［はい］を選んで●を押す。

2 動画を保存する。（☞P.368の操作2）

キャラ電プレーヤ

キャラ電とは

テレビ電話中、自分のカメラ映像の代わりにキャラクタを相手へ送信できます。さらに、キャラクタが音に反応して口を動かしたり（リップシンク対応データ）、お客様のボタン操作に従ってキャラクタの手足を上げたり、ダンスをするなど、さまざまなアクションをさせることができます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送ることもできます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません。）キャラ電や動作は、キャラ電プレーヤでいつでも確認したり、撮影することが可能です。

- キャラ電は、FOMA端末にあらかじめ登録されているほか、サイトやインターネットホームページからダウンロードできます。（☞P.229）
- テレビ電話中（☞P.86）、キャラ電再生中、キャラ電撮影中（☞P.374）のキャラクタ操作では、ボタン確認音は鳴りません。

キャラ電を再生する<キャラ電プレーヤ>

データBOXのキャラ電に保存されているキャラ電を再生できます。またアクションを実行することもできます。

1 待受画面で[●][7][4]を押す。



©BVIG
©SCN

- TOPメニューから[データBOX]（データBOX）→［キャラ電］の順に選択することもできます。
- キャラ電一覧画面が表示されます。
- 画像一覧表示を切り替えるときは、[メニュー][7]を押し、[1]［9分割表示］または[2]［16分割表示］、[3]［リスト表示］を押します。
- 次のページを表示するときは、[次]を押します。
- 前のページを表示するときは、[前]を押します。

2 キャラ電を選んで[●]を押す。



©SCN

アクションモードマーク

- キャラ電が再生されます。
- アクションモードを切り替えるときは、[上]を押します。全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。
- アクションをさせるときは、[下]を押し、アクションを選んで[●]を押すか、表示されているアクションの番号（[1]～[9]、[#]）を押します。アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号を押してアクションをさせることもできます。
- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.87を参照してください。

アクションモードマークの見かた

[全体]：全体アクションモード
[パーツ]：パーツアクションモード

お知らせ

キャラ電プレーヤでキャラ電を表示中のボタン操作

[上]	[●]	[下]	[メニュー]	[#] 1秒以上	[1]～[9]、[#]	[0]
アクション切替（☞P.374）	画面サイズ切替（☞P.373）	アクション一覧（☞P.374）	サブメニュー表示	ライトアップ（☞P.372）	アクション操作（☞P.374）	アクション中止（☞P.374）

画面サイズについて

キャラ電を表示する画面サイズを変更できます。



©SCN
等倍



©SCN
拡大

関連操作

ライトアップする<ライトアップ>

再生中に[メニュー][8]
- または[#]（1秒以上）
- 消すとき：同じ操作をする

関 連 操 作

再生時の照明を設定する＜再生中照明設定＞

1 再生中に 9

● キャラ電一覧画面から設定するとき：操作1の画面で、 8

2 常にONにするときは 2

● 照明設定に従うとき： 1

画面サイズを変更する＜画面サイズ切替＞

再生中に◉［等倍］

● 拡大サイズに戻すとき：◉［拡大］

キャラ電をテレビ電話代替画像に設定する＜テレビ電話代替画像＞

再生中に 1 1

● キャラ電一覧画面から設定するとき：操作1の画面で、キャラ電▶ 1 1

電話帳に設定する＜電話帳代替画像＞

1 再生中に 1 2

● キャラ電一覧画面から設定するとき：操作1の画面で、キャラ電▶ 1 2

2 電話帳に新規登録するときは 1

● 上書登録するとき： 2

お知らせ

ライトアップについて

● ライトアップ時は、ディスプレイの明るさの設定（☞P.135）にかかわらず、最大の明るさで表示されます。
● 再生中照明設定を［照明設定に従う］に設定しているときは照明時間設定（☞P.133）で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
● 再生中照明設定を［常にON］に設定しているときは、キャラ電を終了するまでバックライトが点灯します。

再生中照明設定について

● お買い上げ時は、［照明設定に従う］に設定されています。

画面サイズ変更について

● お買い上げ時は、［拡大］に設定されています。

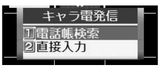
代替画像設定について

● 設定されたキャラ電には、［ ］が表示されます。

■ キャラ電を代替画像として電話をかける＜キャラ電発信＞

お好みのキャラ電を選んで代替画像としてテレビ電話をかけることができます。

1 待受画面で◉ 7 4 を押し、キャラ電を選んで を押す。



2 入力方法を選び、テレビ電話をかける。

電話番号を直接入力してかける	2 →電話番号を入力→ ［テレビ電話］
電話帳を利用してかける	1 →相手→◉→ ［テレビ電話］

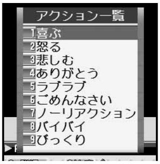
キャラ電を操作する

キャラ電にアクションをさせる

テレビ電話中やキャラ電再生中に、キャラ電にアクションをさせることができます。
- 全体アクションモードにすると、喜ぶや怒るなどの感情を選ぶことができます。
- パーツアクションモードにすると、体の一部を動かしたり、ジャンプやダンスなどをさせることができます。
- パーツアクションの中には、別のアクションと組み合わせて実行できるものもあります。
- キャラ電によっては、マイクからの音に合わせて口を動かすことができます。
- アクションの種類は、キャラ電により異なります。

1 待受画面で◉7 4を押し、キャラ電を選んで◉を押す。

2 ◯または📷5を押し、アクションを選んで◉を押す。



- アクションリストの詳細を表示するときは、i［詳細］を押します。
- 選択したアクションを行います。
- 表示されているアクションの番号（1〜9、#）を押すこともできます。アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号を押してアクションさせることもできます。
- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.87を参照してください。
- アクションを中止するときは、0を押します。

お知らせ
- キャラ電の種類によっては、操作しなくてもアクションを行う場合があります。

関連操作

全体アクションとパーツアクションを切り替える<アクション切替>
キャラ電再生中に◯または📷4

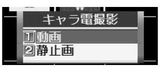
キャラ電を撮影する<キャラ電撮影>

キャラ電を画像として撮影できます。
- マナーモード設定中、シャッター音は鳴りません。

静止画を撮る

キャラ電を撮影し、静止画として保存します。
- キャラ電で撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの［カメラ撮影］フォルダか、本体保存先に指定したフォルダに保存されます。
- 撮影できるサイズは「QCIF：176×144」です。

1 待受画面で◉7 4を押し、キャラ電を選んで◉を押し、📷📷を押す。



データ表示／編集／管理

2 2［静止画］を押す。



©SCN

- 動画撮影に切り替えるときは、📷11を押します。
- 画質を変更するときは、📷2を押し、画質の種類を選んで◉を押します。
- キャラ電を切り替えるときは、📷3を押し、使用するキャラ電を選んでi［決定］を押します。
- 画面サイズを切り替えるときは、📷4を押し、1［等倍］または2［拡大］を押します。
- 本体保存先を指定するときは、📷5を押し、保存先フォルダを選んで◉を押します。
- アクションを切り替えるときは、↑を押します。
- アクション一覧からアクションを行うときは、↓を押し、アクションを選んで◉を押すか、表示されているアクションの番号（1～9、#）を押します。

3 ◉［📷］を押し、◉［保存］を押す。

- 撮影したいアクションをさせた直後に◉を押して撮影できます。
- 静止画が保存されます。

■ 動画を撮る

キャラ電を撮影し、動画として保存します。

- キャラ電を撮影した動画は、データBOXのｉモーションの［カメラ撮影］フォルダか、本体保存先に指定したフォルダに保存されます。
- 撮影できるサイズは「QCIF：176×144」です。

1 待受画面で◉74を押し、キャラ電を選んで◉を押し、📷📷を押す。

2 1［動画］を押す。



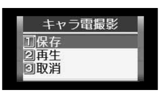
©SCN

- 静止画撮影に切り替えるときは、📷12を押します。
- 画質を変更するときは、📷2を押し、画質の種類を選んで◉を押します。
- ファイルサイズ制限を設定するときは、📷3を押し、1［メール用（短）］または2［メール用（長）］を押します。
- キャラ電を切り替えるときは、📷4を押し、使用するキャラ電を選んでi［決定］を押します。
- 画面サイズを切り替えるときは、📷5を押し、1［等倍］または2［拡大］を押します。
- バックライトの点灯時間を設定するときは、📷6 を押し、1［照明設定に従う］または2［常にON］を押します。
- 本体保存先を指定するときは、📷7を押し、保存先フォルダを選んで◉を押します。
- 映像・音声を切り替えるときは、📷0 を押し、1［映像＋音声］または 2［映像のみ］を押します。

3 ◉［録画］を押す。

- アクションを切り替えるときは、↑を押します。
- アクション一覧からアクションを行うときは、↓を押し、アクションを選んで◉を押すか、表示されているアクションの番号（1～9、#）を押します。
- アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号を押してアクションをさせることもできます。
- アクション一覧表示中も録画は継続されていますが、録画残時間表示が更新されないことがありますので、ご注意ください。

4 ◉［停止］を押す。



- 録画を停止します。
- 録画残時間表示が00:00:00になったときは、自動的に撮影は停止します。また、録画残時間表示は目安であり、撮影対象により00:00:00より以前に撮影が自動的に停止する場合もあります。

次ページへ続く ▶▶

5 保存する。

保存する	1
再生する	2
保存しない	3→［はい］→●

お知らせ

● キャラ電の動画撮影中はボタン確認音は鳴りませんが、ボタン操作音が録音されることがあります。

キャラ電を管理する

キャラ電を保護したり、削除や並べ替えなどができます。

■ リスト画面の表示切替について

キャラ電一覧の表示方法を、［９分割表示］［16分割表示］［リスト表示］のいずれかに設定できます。



©BVIG
©SCN

９分割表示



©BVIG
©SCN

16分割表示



©BVIG
©SCN

リスト表示

■ 並べ替え（ソート）について

キャラ電一覧の表示順番を次のいずれかに変更できます。

日付順（新→旧）	保存した日付の新しい順
日付順（旧→新）	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、（半角数字→半角英大文字→半角英小文字→半角カタカナ→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字１→絵文字２）の順
ファイル取得元順	プリインストール→ダウンロード（ｉモード）の順
サイズ順（大→小）	サイズの大きい順
サイズ順（小→大）	サイズの小さい順

● お買い上げ時は、［日付順（新→旧）］に設定されています。

■ 削除について

キャラ電は、次のいずれかの方法で削除できます。

１件削除	キャラ電を１件ずつ削除します。
全件削除	キャラ電をすべて削除します。
選択削除	複数のキャラ電を選んでまとめて削除します。

■ 情報表示について

表示される情報は次のとおりです。

● 保存日時
● ファイル制限［あり／なし］
● テレビ電話設定［ON／OFF］
● 撮影後ファイル制限［あり／なし］
● 表示サイズ
● 保護設定［あり／なし］
● ファイル名
● 取得元
● ファイルサイズ
● 電話帳設定［ON／OFF］
● オリジナルタイトル

お知らせ

● 撮影後ファイル制限とは、キャラ電撮影により作成された静止画／動画のメールへの添付、miniSDメモリーカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

関連操作

リスト画面の表示方法を変更する＜表示切替＞
待受画面で●7 4▶📷7▶表示方法▶●

キャラ電を並べ替える＜ソート＞
待受画面で●7 4▶📷6▶ソート方法▶●

キャラ電を保護する＜保護設定＞
1 待受画面で●7 4▶キャラ電▶📷3

2 1

- キャラ電の保護を解除するとき：2

タイトルを変更する＜タイトル編集＞
1 待受画面で●7 4▶キャラ電▶📷5

2 1

- 元のタイトルに戻すとき：2

3 タイトルを編集▶●

- タイトルを削除するとき：CLR 1秒以上

キャラ電を削除する＜削除＞
1 待受画面で●7 4▶キャラ電▶📷2

2 1

- すべてのキャラ電を削除するとき：3▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●
- 複数のキャラ電を選んでまとめて削除するとき：4▶キャラ電●（くり返し）▶📝［完了］

3 ［はい］▶●

- 削除しないとき：［いいえ］▶●

キャラ電の詳細情報を表示する＜情報表示＞
待受画面で●7 4▶キャラ電▶📷4

- 確認を終わるとき：●［確認］

お知らせ

リスト画面の表示方法変更について
- お買い上げ時は、［9分割表示］に設定されています。

キャラ電の保護について
- 代替画像や電話帳に設定したキャラ電は、自動的に保護設定されます。（代替画像への設定が解除された場合でも、保護設定は自動解除されません。）

タイトルの変更について
- 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
- 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角7文字（半角14文字）です。

キャラ電の削除について
- 保護設定したキャラ電を削除するときは、1件削除してください。
- 全件削除すると、お買い上げ時に登録されているキャラ電も含めてすべて削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除後にもう一度ご利用になる場合は、ｉMenu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます。（☞P.229）

メロディを再生する

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたｉメロディや、メッセージR／Fやｉモードメールに添付されているメロディは、データBOXのメロディに保存され、メロディプレーヤで再生できます。

1 待受画面で●7 3を押す。



- TOPメニューから（データBOX）→［メロディ］の順に選択することもできます。
- メロディのフォルダ一覧画面が表示されます。
- 連続再生するときは、4を押します。

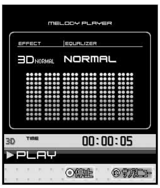
2 フォルダを選んで●を押す。



- メロディ一覧画面が表示されます。

次のページを表示する	リストの一番下のメロディにカーソルがあるときに
前のページを表示する	リストの一番上のメロディにカーソルがあるときに
miniSDメモリーカード内のメロディを確認する	# ● 再びFOMA端末（本体）のメロディを確認するときは、#を押します。

3 メロディを選んで●を押す。



- 選んだメロディが再生されます。
- 再生中に●を押すと、停止し、メロディ一覧画面に戻ります。
- マナーモードを設定しているときは、［マナーモード中です　メロディを再生しますか？］と表示されます。［はい］を選んで●を押します。

お知らせ

- 一部再生できないメロディがありますので、ご了承ください。
データ BOX のメロディに保存したメロディは、パソコンをお持ちの場合、miniSDメモリーカード（☞P.381）を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データ BOX のメロディに登録してあるメロディが消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メロディを着信音に設定できます。（☞P.381）
- 現在のメロディの参照先（FOMA端末（本体）または miniSDメモリーカード）は、メロディプレーヤをいったん終了しても記録され、次回、メロディプレーヤを起動したときにも同じ参照先となります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

再生効果を設定する＜再生効果設定＞

メロディ再生中に、ステレオ効果設定（☞P.123）で設定した3Dサウンド（☞P.123）やサラウンドのステレオ効果を変更することができます。

1 メロディ再生中（☞**P.378**の操作３）に📷3を押し、再生効果の種類を選ぶ。

ステレオ・3DサウンドON	1	3D情報が含まれるメロディは3Dサウンドで再生されます。3D情報が含まれていないメロディはステレオサウンドで再生されます。
3D（スイング）	2	音が左⇔前⇔右に移動して再生されます。3D情報が含まれていてもこの設定で再生されます。
3D（ループ）	3	音が前後左右に移動して再生されます。3D情報が含まれていてもこの設定で再生されます。
サラウンド※1	4	サラウンドで再生されます。3D情報が含まれていてもこの設定で再生されます。
OFF	5	再生効果を設定しません。モノラル※2で再生されます。

※1　音に臨場感・立体感を出す再生方式。
※2　立体音が再生されない再生方式。

関連操作

音量を変更する＜音量変更＞
「メロディを再生する」の操作２の画面で📷7▶上（上げる）／下（下げる）▶●

再生中に音量を変更する＜音量変更＞
再生中に📷1▶上（上げる）／下（下げる）▶●

イコライザを設定する＜イコライザ設定＞
再生中に📷2▶イコライザの種類▶●

お知らせ

音量の変更について
- お買い上げ時は、［音量３］に設定されています。

メロディフォルダ一覧画面の見かた

FOMA端末（本体）



- メロディ：サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで取得したメロディ用フォルダ
- プリインストール：あらかじめFOMA端末に内蔵されているメロディ用フォルダ
- マイスペシャル：お客様が作成できるメロディ用フォルダ（☞P.392）

miniSDメモリーカード

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、メロディ画面で📷#を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。



- メロディ：あらかじめ用意されているメロディ用フォルダ
- お好み：お客様が作成できるメロディ用フォルダ（☞P.389）

メロディマークの見かた

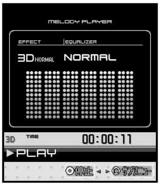
	SMF	MFi
保護設定なし		
保護設定あり		

- FOMAカード動作制限機能が設定されたメロディには、[ ]（保護設定なし）、[ ]（保護設定あり）が表示されます。
- 着信音などに設定したメロディには、[ ] が表示されます。
- ｉモードなどでダウンロードしたメロディには [ ] が、miniSDメモリーカードやバーコードリーダーで取得したメロディには [ ] が表示されます。
- 3D情報が含まれるメロディのときは [3D] が表示されます。
- メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディには、[ ] が表示されます。

連続再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のすべてのメロディを連続して再生できます。

1 待受画面で● 7 3 を押し、フォルダを選んで 4 を押す。



途中で次のメロディにスキップする	◯
現在のメロディの先頭に戻る	◯ ● メロディの先頭でもう一度◯を押すと、1つ前のメロディに戻ります。

メロディの演奏部分を指定する<開始位置選択>

ｉモードでダウンロードしたメロディやｉモードメールで受信したメロディの指定されている部分だけを演奏できます。

- 演奏部分は、あらかじめ指定されている部分が決まっていて、変更できません。
- ファイル形式がSMFのメロディは開始位置選択できません。
- miniSDメモリーカードに保存されたメロディの開始位置を指定することはできません。

1 待受画面で● 7 3 を押し、フォルダを選んで●を押し、演奏部分を指定するメロディを選んで 1 を押す。

- 開始位置選択画面が表示されます。
- 演奏部分を指定できないメロディの場合、[1開始位置選択] はグレーで表示されます。

2 再生方法を選ぶ。

メロディを全部演奏する [フルコーラス再生]	1
メロディを一部演奏する [ポイント再生]	2

メロディを添付してｉモードメールを送信する

データBOXのメロディからメロディ（SMF）を選択し、ｉモードメールに添付して送信できます。

- 送信できるメロディのサイズは最大10000バイトです。これを超えるサイズは添付できません。

1 待受画面で● 7 3 を押し、フォルダを選んで●を押し、メロディを選んで [メール] を押す。

- メール作成画面が表示されます。選択したメロディファイルが添付されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.255の操作2～4を参照してください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

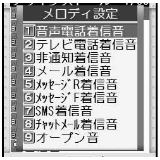
お知らせ

- 相手の機種がFOMA SH900i、SH901iC、SH700i、SH901iS以外の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- ファイル形式がMFiのメロディ、メールに添付されたメロディ、ｉモードでダウンロードしたメロディやｉアプリから取得したファイル制限ありのSMFのメロディは一部、ｉモードメールに添付できないものがあります。

メロディを着信音などに設定する<メロディ設定>

データBOXのメロディに保存されているメロディは、着信音などに設定できます。

1 待受画面で◉[7][3]を押し、フォルダを選んで◉を押し、メロディを選んで[📷][6]を押す。



2 項目を選んで◉を押す。

miniSDメモリーカードについて

FOMA端末では、miniSDメモリーカードを利用できます。miniSDメモリーカードは、SDメモリーカードをさらに小型化したメモリーカードです。FOMA端末内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをminiSDメモリーカードに保存したり、miniSDメモリーカード内のデータをFOMA端末（本体）に取り込むことができます。また、FOMA端末からminiSDメモリーカード内のデータを閲覧できます。miniSDメモリーカードに保存できる静止画撮影枚数、動画撮影時間、音声録音時間の目安については、P.606～P.607を参照してください。
miniSDメモリーカードアダプタを利用すると、SDメモリーカード対応パソコンやプリンタなどでも利用できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードおよびminiSDメモリーカードアダプタをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
miniSDメモリーカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

- FOMA端末の電源を入れたままの状態でminiSDメモリーカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- miniSDメモリーカードは正しく挿入してください。正しく挿入していないと、使用できません。
- SH901iSでは、256MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています。（2005年５月現在）
  miniSDメモリーカードの最新対応状況については、
  FOMA端末からの場合：［ｉMenu］→［3メニューリスト］→［ケータイ電話メーカー］→［SH-MODE］
  パソコンからの場合：　http://k-tai.sharp.co.jp/products/sh901is.shtml
  をご覧ください。
- miniSDメモリーカードや他の機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードなどをお使いの場合は次の点にご注意ください。
  - ■ FOMA端末に挿入すると約５秒間FOMA端末でご使用いただくための情報を書き込みます。その間にminiSDメモリーカードを取り外したり、電源を切らないでください。データが壊れたり正常に動作しなくなることがあります。
  - ■ パソコンなどでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用することをおすすめします。フォーマットの操作については、P.389を参照してください。フォーマットすると元のデータが消えてしまいますので、ご注意ください。

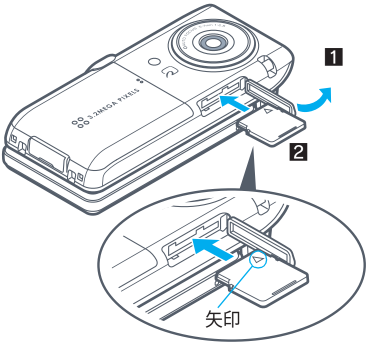
次ページへ続く

- miniSDメモリーカード内のデータ編集中に、miniSDメモリーカードを抜き差ししないでください。また、データ編集中にFOMA端末やminiSDメモリーカードを挿入した機器の電源を切らないでください。データが壊れたり正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで使用していたminiSDメモリーカードをFOMA SH901iSに挿入した場合、使用できないことがあります。不要なデータを削除してから、再度挿入してください。
- miniSDメモリーカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

miniSDメモリーカードを挿入する

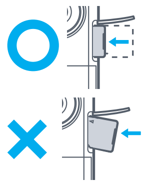
FOMA端末の電源を切ってからminiSDメモリーカードを取り付けてください。

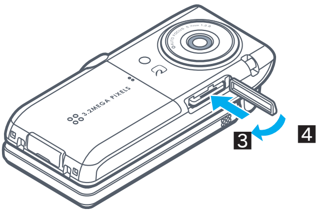


1 miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く。（1）

2 miniSDメモリーカードの矢印（▲）を上に向けてゆっくりと挿入する。（2）

- miniSDメモリーカードが傾いたままで無理に押し込まないでください。miniSDメモリーカードスロットが破損することがあります。





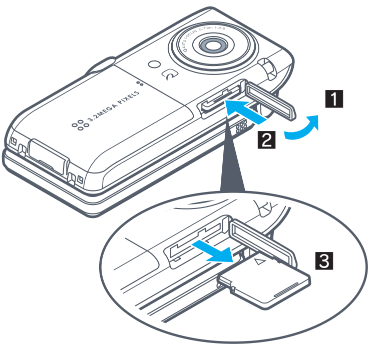
3 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり押し込む。（3）

- 指で押し込んでください。

4 miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる。（4）

miniSDメモリーカードを取り外す

FOMA端末の電源を切ってからminiSDメモリーカードを取り外してください。



1 miniSDメモリーカードスロットのカバーを開き（1）、miniSDメモリーカードを軽く押し込む。（2）

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。miniSDメモリーカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やminiSDメモリーカードを破損させるおそれがあります。

2 miniSDメモリーカードを取り外す。（3）

- ゆっくりまっすぐに取り外してください。取り外したあと、miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じます。

データ表示／編集／管理

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

お知らせ

- miniSDメモリーカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り外したりしないでください。急に指を離すとminiSDメモリーカードが飛び出し危険です。
- miniSDメモリーカードを取り外すときは、必ずminiSDメモリーカードを軽く押し込み「カチッ」と鳴ったことを確認したあと、miniSDメモリーカードを引き抜いてください。無理に引き抜くと、FOMA端末やminiSDメモリーカードを破損させるおそれがあります。
- FOMA端末から取り外したときは、必ずminiSDメモリーカードに付属の専用保護ケースに収納してください。

miniSDメモリーカードの使用条件

FOMA端末（本体）のデータを、miniSDメモリーカードにコピーできます。
コピーには、1件コピー、全件コピー、選択コピーの方法があります。また、機能によっては、グループやフォルダなど分類内のデータをすべてコピーする方法もあります。

FOMA端末からminiSDメモリーカードにコピーできるデータ

機　能	件　数※1		1件／選択／全件コピー	フォルダ内全件コピー
	16Mバイト	32Mバイト		
電話帳※2	合わせて最大65535件		○	○
スケジュール※3※8			○	－
ToDoリスト※3			○	－
テキストメモ			○	－
ブックマーク			○	○（フォルダ情報はコピーされません。）
ｉモードメール／SMS※5※6			○	○
静止画※4※7	1900フォルダ／1フォルダ最大400件（☞P.606）		○	○
動画※4	4095フォルダ／1フォルダ最大400件（☞P.606）		○	○
メロディ※4	999フォルダ／1フォルダ最大400件		○	○
PDF※4※9	999フォルダ／1フォルダ最大400件		○	○

※1　保存するデータの大きさや、miniSDメモリーカードの容量によっては、件数が少なくなる場合があります。
※2　シークレット設定、グループ番号、グループ名、メモリ番号、シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ、指定メール着信ランプ、キャラ電設定はコピーされません。電話帳で［画像転送設定］を［しない］に設定しているときは、ピクチャーコール設定もコピーされません。［画像転送設定］を［する］に設定しても、ファイル制限（FOMA端末外への出力制限）のあるデータはコピーされません。名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。
※3　シークレット設定とアラーム時刻以外のアラーム情報はコピーされません。スケジュールでは、連絡先、画像設定の情報もコピーされません。
※4　ファイル制限（FOMA端末外への出力制限）のないデータのみコピーできます。
※5　miniSDメモリーカードにコピーしたメールは、返信したり、転送できますが、保護設定はできません。また、フォルダ情報はコピーされません。
※6　大容量添付ファイルが添付されているメールは、大容量添付ファイルが削除されてコピーされます。
※7　Flash画像、フレームはminiSDメモリーカードにコピーされません。
※8　祝日設定はコピーされません。終了日時が入力されていないデータをコピーすると、終了日時に開始日時が設定されます。また、スケジュールの録画データのうち、チャンネル情報、録画ON／OFF情報についてはコピーされません。
※9　ダウンロードに失敗したPDFデータは、miniSDメモリーカードにコピーできない場合があります。

お知らせ

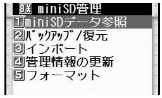
- FOMA端末で撮影した静止画または動画は、FOMA端末（本体）またはminiSDメモリーカードに保存できます。
- miniSDメモリーカードにデータをコピーすると、管理情報もminiSDメモリーカードに書き込まれます。
- パソコンからminiSDメモリーカードへ直接ファイルをコピーしても、FOMA端末では表示されないことがあります。その場合はデータリンクソフトをご利用ください。データリンクソフトのダウンロードについては、P.584を参照してください。

次ページへ続く

お知らせ

- PIMロック中、ロックされているデータは操作できません。端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると、PIMロックが一時的に解除され、操作できるようになります。

miniSD管理画面について



miniSD管理画面では、miniSDメモリーカード内のデータを参照したり、バックアップやフォーマットを行うなど、miniSDメモリーカード内のデータを管理・利用できます。

- miniSD管理画面は、◉ 8 ＊ を押して表示します。
- miniSDメモリーカード内のフォルダやファイル名などの情報は、「管理情報」と呼ばれる部分で管理されています。パソコンなどでminiSDメモリーカードを利用（データ編集や追加、削除など）した場合は、miniSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります。（☞P.390）管理情報が正しくない状態では、データの編集、保存や移動、コピーなどができない場合がありますので、ご注意ください。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

miniSDメモリーカード
- BOOK …… ブックリーダーフォルダ
- DCIM …… 静止画フォルダ
  - xxxSHARP …… 撮影静止画用フォルダ
  - xxxSH_UF …… ユーザ作成フォルダ
- MISC …… DPOF設定ファイル用フォルダ
- PRIVATE
  - DOCOMO
    - RINGER …… メロディファイル用フォルダ
    - STILL …… その他画像ファイル用フォルダ
    - DOCUMENT ― PUDxxx …… PDF対応ビューアフォルダ
    - TABLE …… 管理情報フォルダ※
  - SHARP
    - IMPORT …… インポートフォルダ
    - DOCUMENT …… ドキュメントビューアフォルダ
    - VOICE …… ボイスメモフォルダ・ｉモーション（音楽データ含む）
- SD_PIM …… PIMデータ用フォルダ（電話帳、スケジュール／ToDoリスト、メール、テキストメモ、ブックマーク）
- SD_VIDEO …… 動画フォルダ
  - PRLxxx …… 撮影動画用フォルダ

※［TABLE］フォルダの下には［DCIM］、［RINGER］、［STILL］、［SD_VIDEO］、［DOCUMENT］それぞれについて、付加情報を格納するフォルダがあります。

- フォルダ名「PUDxxx」「PRLxxx」の「xxx」は、001～999の3桁の半角数字になります。
- フォルダ名「xxxSHARP」「xxxSH_UF」の「xxx」は、100～999の3桁の半角数字になります。（「xxx」は変更できますが、000～099に変更しても認識されません。）
- GIFアニメーションファイルは［STILL］フォルダに入り、それ以外のGIFファイルは［DCIM］フォルダに入ります。
- パソコンでフォルダ名の変更や削除をすると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。
- SH506iC、SH900i、SH901iCをご利用のお客様で、miniSDメモリーカードの\PRIVATE\SHARP\DOCUMENTフォルダにPDFデータを保存している場合は、\PRIVATE\DOCOMO\DOCUMENT\PUDxxxフォルダに移動する必要があります。ファイル名は「PDFDCxxx.PDF」に変更してから保存してください。（ファイル名「xxx」は、001～999の3桁の半角数字）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

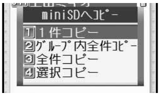
FOMA端末からminiSDメモリーカードにコピーする

データの一覧画面や内容表示画面から、データをminiSDメモリーカードにコピーします。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.381）

- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

例：電話帳の場合

1 待受画面で📖を押し、名前を選んで📷9を押す。



- 電話帳の内容を確認してからコピーするときは、内容表示画面で📷を押し、［■miniSDへ1件コピー］を選んで●を押します。そのあと、［はい］を選んで●を押します。

2 コピー方法を選ぶ。

1件コピーする	1→［はい］→●
グループ内全件コピーをする	2→グループ→●→端末暗証番号→●→［はい］→●
全件コピーする	3→端末暗証番号→●→［はい］→●
選択コピーする	4→名前⇔●（くり返し可）→📄［完了］→［はい］→● ● 最大50件まで選択できます。

お知らせ

- 電話帳を全件コピーする場合、電話帳のグループ情報はコピーされません。
- データBOXの静止画、メロディ、動画／ｉモーションをminiSDメモリーカードにコピーする場合、コピー先のフォルダを選択できます。
- PDFデータは、FOMA端末とminiSDメモリーカードの間で2Mバイトまでコピーできます。
- FOMA端末とminiSDメモリーカードの間で静止画、動画／ｉモーションをコピーすると、元の画像より画質が劣化したり、ファイルサイズが変わる場合があります。コピー先フォルダの静止画が400件を超えると新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに画像が保存されます。
- FOMA端末に保存してあるJPEG画像をminiSDメモリーカードにコピーすると、画像のファイルサイズが大きくなります。FOMA端末のメモリが少ないと、元の画像を削除しても、miniSDメモリーカードにコピーした画像をFOMA端末にコピーして戻せない場合があります。
- FOMA端末で撮影可能な画像サイズや、撮影可能なファイルサイズよりも大きい画像は、コピーできない場合があります。
- コピーした項目を再度コピーすると別のデータとして保存されます。
- miniSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、コピーできない場合があります。

FOMA端末（本体）のデータをバックアップする

FOMA端末の各機能（電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、ブックマーク、テキストメモ）のデータを、miniSDメモリーカードにバックアップデータとして各機能ごとに1ファイルで保存できます。電話帳のバックアップ／復元では所有者情報も含んで転送されます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.381）

- バックアップできるデータの種類については、P.383を参照してください。ただし、データBOXの静止画や動画／ｉモーション、メロディ、PDFはバックアップできません。
- 個人データのバックアップは、同機種間またはminiSDメモリーカード対応FOMA端末などでの情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的でご利用されることをおすすめします。
- 電池残量が少ない場合、バックアップできなかったり、正しくバックアップできないことがあります。充電しながら行うことをおすすめします。
- あらかじめ、日付・時刻を設定しておいてください。（☞P.48）
- PIMロック中は、バックアップできません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳をバックアップできません。

FOMA端末→miniSDメモリーカードにバックアップする

1 待受画面で●8*21を押し、機能を選んで●を押す。

- TOPメニューから（ツール）→［miniSD管理］→［バックアップ／復元］→［miniSDへバックアップ］の順に選択することもできます。
- 端末暗証番号入力画面が表示されます。
- ［メール］を選んだときは、メール内の分類が表示されます。バックアップするメールを選んで●を押します。

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して●を押し、［はい］を選んで●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。
- バックアップが開始されます。
- バックアップが終了すると、［バックアップ完了しました］と表示されます。

お知らせ

- miniSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、転送できない場合もあります。
- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。
- 電話帳のシークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ、指定メール着信ランプ、キャラ電設定はバックアップされません。名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。
- 電話帳で［画像転送設定］を［する］に設定している場合、ピクチャーコールに設定した画像もバックアップされます。バックアップされる画像は、本FOMA端末でカメラ撮影した静止画、動画およびそれらを編集したものです。
- スケジュール・ToDoリストでは、アラーム時刻以外のアラーム情報はバックアップされません。スケジュールでは、連絡先、画像設定の情報もバックアップされません。
- スケジュールの録画データのうち、チャンネル情報、録画ON／OFF情報は転送されません。
- ToDoリストをバックアップすると、シークレット登録したデータが通常のデータとして保存されますので、ご注意ください。
- メールでは、ｉアプリ To、フォルダ情報はバックアップされません。
- FOMAカード内の電話帳・SMSはバックアップされません。

miniSDメモリーカード→FOMA端末にバックアップデータを読み込む

miniSDメモリーカードからFOMA端末にバックアップデータを読み込みます。

- FOMA端末内のデータを残したまま追加する方法と、FOMA端末内のデータを消去して書き込む方法があります。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。

1 待受画面で●8*22を押し、機能を選んで●を押す。

- TOPメニューから（ツール）→［miniSD管理］→［バックアップ／復元］→［本体へ復元］の順に選択することもできます。
- 選んだ機能のバックアップデータが表示されます。該当するデータがないときは、［miniSDデータがありません］と表示されたあと、操作１の画面に戻ります。
- 本FOMA端末でバックアップしたデータ名には、バックアップした日付が付いています。
  例：2005年８月21日８時52分の場合→［datagr050821_0852］
- ［メール］を選んだときは、メール内の分類が表示されます。●を押すと、メールのバックアップリスト表示画面が表示されます。
- バックアップデータの内容を確認するときは、バックアップデータを選んで2を押します。
- バックアップデータの情報を確認するときは、バックアップデータを選んで3を押します。タイトル、ファイル形式、ファイル名、場所、ファイル制限、保存日時が表示されます。

2 バックアップデータを選んで●を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。
- 復元確認画面が表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

3 ［追加］を選んで●を押す。

- バックアップデータの読み込みが開始されます。
- バックアップデータの読み込みが終了すると、［復元完了しました］と表示されます。
- FOMA端末のデータに上書きするときは、［上書き］を選んで●を押してから、［はい］を選んで●を押します。電話帳にバックアップデータを上書きする場合、所有者情報については、自局番号を除いて上書きされます。また、電話帳のグループ名も上書きされ、上書き対象でないグループ設定は初期化されますので、ご注意ください。

お知らせ

- メールとブックマークにはフォルダの情報が保存されていないため、受信メールは［受信トレイ］に、送信メールは［送信トレイ］に、ブックマークは［Bookmark］フォルダに保存されます。
- メールについては、転送に時間がかかる場合があります。

バックアップデータを削除する

1 待受画面で●8＊22を押し、機能を選んで●を押す。

- TOPメニューから（ツール）→［miniSD管理］→［バックアップ／復元］→［本体へ復元］の順に選択することもできます。

2 データを選んで1［削除］を押し、削除方法を選ぶ。

1件削除する	1→［はい］→●
全件削除する	2→端末暗証番号→●→［はい］→●
選択削除する	3→データ⇔●（くり返し可）→［完了］→［はい］→● ● 最大50件まで選択できます。

miniSDデータ参照

miniSDメモリーカードのデータをプレビューする

miniSDメモリーカードにコピーしたデータは、各機能の画面またはminiSD管理画面から確認できます。miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.381）

各機能の画面から確認する

miniSDメモリーカード内のデータの確認は、各データの一覧画面から操作できます。

例：電話帳の場合

待受画面でを押し、#を押す。

- miniSDメモリーカード内のデータが表示されます。FOMA端末（本体）のデータと同様に確認できます。
- バックアップデータを選んで●を押すと、miniSDメモリーカードにバックアップしたデータの内容を確認できます。
- 該当するデータがないときは、［miniSDデータがありません］と表示されたあと、元の画面に戻ります。

miniSD管理画面から確認する

1 待受画面で◉ 8 ＊ 1 を押し、機能を選んで◉を押す。

- TOPメニューから（ツール）→［miniSD管理］→［miniSDデータ参照］の順に選択することもできます。
- 選んだ機能内のデータがリスト形式で表示されます。該当するデータがないときは、［miniSDデータがありません］と表示されたあと、元の画面に戻ります。
- ［メール］を選んだときは、メール内の分類が表示されます。参照するメールを選んで◉を押します。
- データを削除するときは、を押し、［削除］を選んで◉を押します。削除方法を選んで◉を押したあと、画面の指示に従って操作してください。（基本的な操作方法は、電話帳などと同様です。）
- FOMA端末（本体）へコピーするときは、を押し、［本体へコピー］を選んで◉を押します。コピー方法を選んで◉を押したあと、画面の指示に従って操作してください。バックアップ／復元（☞P.385）で作成されたデータはコピーできません。
- データ情報を確認するときは、を押し、［情報表示］を選んで◉を押します。

2 データを選んで◉を押す。

- データが表示されます。
- データ表示中の操作については、各機能の説明ページを参照してください。

本体へコピー

miniSDメモリーカードからFOMA端末にコピーする

miniSDメモリーカードに保存されている各データを、FOMA端末（本体）にコピーできます。
１件コピー、全件コピー、選択コピーの方法があります。
miniSDメモリーカードからのコピーは、各データのリスト画面から操作します。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.381）

- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

例：電話帳の場合

1 待受画面でを押し、 # を押す。

- miniSDメモリーカード内のデータが表示されます。

2 データを選んで 2 ［本体へコピー］を押し、コピー方法を選ぶ。

１件コピーする	1 →［はい］→◉
全件コピーする	2 →端末暗証番号→◉→［はい］→◉
選択コピーする	3 →名前⇔◉（くり返し可）→［完了］→［はい］→◉ ● 最大50件まで選択できます。

- コピーが開始されます。

お知らせ

- miniSD管理画面でデータを確認中にコピーすることもできます。
- miniSDメモリーカードにバックアップしたデータをコピーすることはできません。miniSDメモリーカードからの読み込み（☞P.386）を行ってください。
- PDFデータは、FOMA端末とminiSDメモリーカードの間で２Mバイトまでコピーできます。

電話帳をコピーするとき

- 名前が未登録のデータがコピーされたときは［No Name］と表示されます。

ブックマークをコピーするとき

- ［同じURLは上書きされます　よろしいですか？］と表示されます。現在のデータに上書きするときは、［はい］を選択します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

miniSDメモリーカードの管理について

データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マイドキュメントの場合、miniSDメモリーカード内のデータを管理するために、フォルダの作成や削除、フォルダ名の編集を行うことができます。データの詳細情報を表示したり、静止画をプリント指定することもできます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.381)

- miniSDメモリーカード内には、１つのフォルダに最大400件までのファイルを保存できます。フォルダやデータについては、P.383～P.384を参照してください。

miniSDメモリーカードをフォーマットする<フォーマット>

フォーマット（初期化）されていないminiSDメモリーカードを使うときは、FOMA端末でフォーマットする必要があります。

- フォーマットすると、miniSDメモリーカード内のすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- パソコンなどでフォーマットした miniSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用することをおすすめします。

1 待受画面で⊙ 8 ＊ 5 を押す。

- TOPメニューから（ツール）→［miniSD管理］→［フォーマット］の順に選択することもできます。
- 端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して⊙を押し、［はい］を選んで⊙を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［＊］で表示されます。
- フォーマットが開始されます。
- フォーマットが終了すると、［フォーマットしました］と表示されます。

お知らせ

- 実行中は、miniSDメモリーカードを抜かないでください。

データを管理する

■ 削除について

miniSDメモリーカードのデータは、次の方法で削除できます。

１件削除	データを１件ずつ削除します。
全件削除	すべてのデータを削除します。
選択削除	複数のデータを選んでまとめて削除します。

関連操作

miniSDメモリーカードのデータを削除する（例：電話帳）

1 待受画面で ▶ #
2 データ▶ 1
3 1
- すべてのデータを削除するとき：2 ▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⊙
- 複数のデータを選んでまとめて削除するとき：3 ▶名前⊙（くり返し）▶ ［完了］

4 ［はい］▶⊙

miniSDメモリーカードにフォルダを作成する（例：マイピクチャ）

1 待受画面で⊙ 7 1 ▶ # ▶ 1
2 カメラフォルダを作成するときは 1
- ［その他静止画］フォルダを作成するとき：2

3 フォルダ名を入力▶⊙

次ページへ続く

データ表示／編集／管理

関連操作

miniSDメモリーカードのデータをフォルダごと削除する（例：マイピクチャ）

1 待受画面で◉ 7 1 ▶ 📷 # ▶ フォルダ ▶ 📷 3

2 3 ▶ 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力 ▶ ◉

- フォルダ内のすべての画像を削除するとき：1 ▶ 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力 ▶ ◉
- すべての画像を削除するとき：2 ▶ 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力 ▶ ◉
- 複数のフォルダを選んでまとめて削除するとき：4 ▶ 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力 ▶ ◉ ▶ フォルダ◉（くり返し）▶ 🔒［完了］

3 ［はい］▶ ◉

- 削除しないとき：［いいえ］▶ ◉

miniSDメモリーカード内のデータの詳細情報を表示する（例：電話帳）

待受画面で🄼 ▶ 📷 # ▶ データ ▶ 📷 3

- 確認を終わるとき：◉［確認］

お知らせ

削除について
- miniSD管理画面でデータを確認中に削除することもできます。（☞P.388）
- 選択削除では最大50件まで選択できます。

フォルダ作成について
- miniSDメモリーカードの空き容量がない場合、miniSDメモリーカード内にフォルダを新規作成することはできません。
- フォルダ名は、最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

フォルダ削除について
- 作成したフォルダ内のデータを全件削除した場合は、フォルダも削除されます。

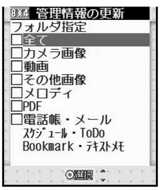
情報表示について
- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。
- miniSD管理画面でデータを確認中に情報表示することもできます。（☞P.388）

miniSDメモリーカードの管理情報を更新する<管理情報の更新>

miniSDメモリーカードを他の機器で利用（データ編集や追加、削除など）した場合、miniSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります。

- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- miniSDメモリーカードの空き容量がないときは、管理情報を更新できない場合があります。
- FOMA端末で管理情報を更新しないと、miniSDメモリーカードが正しく動作しない場合があります。
- miniSDメモリーカード内のファイル数やデータ量によっては、管理情報の更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- 他の機器で書き込んだデータを利用するときは、管理情報の更新が必要な場合があります。管理情報を更新すると、ファイル名の拡張子が小文字（.jpg）の場合は、大文字に変更されます。
- 管理情報の更新を行うと、Exif形式以外のデータのタイトル名は消去されますので、ご注意ください。ただし、オリジナルタイトルの付いたｉモーションとメロディのタイトル名は消去されません。
- miniSDメモリーカードの管理情報を更新中は、アシスタントビュー機能でメール詳細表示はできません。

1 待受画面で◉ 8 * 4 を押す。



- TOPメニューから🔧（ツール）→［miniSD管理］→［管理情報の更新］の順に選択することもできます。
- ｉアプリ待受画面設定中の場合（☞P.326）は、［ｉアプリを終了しますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押し、4 を押すと、管理情報の更新画面が表示されます。

データ表示／編集／管理

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

2 項目を選んで●を押す。

- マークが［☑］に変わります。☑が選択、□が解除の状態です。●を押すと交互に切り替えることができます。管理情報を更新する項目をすべて選択します。
- ［全て］を選択したときは、［はい］を選んで●を押すと管理情報更新が開始されます。

3 ［完了］を押し、［はい］を選んで●を押す。

- 管理情報更新が開始されます。
- 管理情報の更新実行中に●［中止］、またはCLRを押し、［3バックグランド処理］を選んで●を押すと、管理情報を更新しながら、他の操作ができます。PWR/HLDを押した場合は、自動的にバックグランド処理を行います。

お知らせ

- 更新中はminiSDメモリーカードを抜かないでください。
- 更新中に音声電話やテレビ電話を受けたり、メールを受けることもできますが、次の機能はご利用になれません。
  ｉモード、ｉアプリ、静止画・動画撮影、バーコードリーダー、メール閲覧、イメージ再生、ｉモーション再生、メロディ再生、キャラ電再生、電話帳・メール・スケジュール・ToDoリスト・テキストメモからのminiSDデータ参照、プリント指定（DPOF）、miniSDメモリーカードのメモリ確認、赤外線送受信、ドキュメントビューア、PDF対応ビューア、ブックリーダー

パソコンなどで作成したデータをFOMA端末で確認する<インポート>

パソコンなどで作成したデータ（電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモ、データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ、PDF）を、miniSDメモリーカードを経由して、FOMA端末で確認できます。

- あらかじめ、データリンクソフトを使って、パソコンなどからminiSDメモリーカードのインポートフォルダにデータをコピーしておいてください。

1 待受画面で●8＊3を押す。

- TOPメニューから（ツール）→［miniSD管理］→［インポート］の順に選択することもできます。
- インポート画面が表示されます。

2 機能を選んで●を押す。

- 該当するデータがないときは、［miniSDデータがありません］と表示されたあと、操作1の画面に戻ります。
- 選んだ機能のデータ（ファイル名）が表示されます。
- データを削除するときは、1を押します。以降の操作は通常のデータの削除と同様です。
- FOMA端末（本体）へコピーするときは、2を押します。以降の操作は通常のデータのコピーと同様です。漢字やひらがなのファイル名のファイルをコピーしたときは、FOMA端末で扱えるファイル名に変更されます。
- データ情報を確認するときは、3を押します。パソコンなどで作成したデータは、タイトル情報がない場合があります。

3 データを選んで●を押す。

- データが表示されます。

お知らせ

- メロディの場合、本体へのコピーは100Kバイト、miniSDメモリーカード上の再生は200Kバイトまで可能となります。静止画の場合、JPEG画像は1.2Mバイト、GIF画像は500Kバイト、動画の場合は500Kバイトまで再生およびコピーできます。PDFデータの場合は、2Mバイトまで再生およびコピーできます。
- バックアップデータをインポートフォルダに入れた場合、バックアップデータ内の最初の1件のみを表示します。
- 横1536×縦2048ドットを超える静止画（JPEG／GIF）は表示できない場合があります。大きな画像は、画像一覧用の画像を表示する場合もあります。
- PDFデータの場合、インポートフォルダにある状態で表示できません。本体にコピーしてから表示してください。

次ページへ続く

お知らせ

- 次の場合は、添付ファイルの一部または全部が削除されます。
  - ■ FOMA端末で未対応のファイルが添付されているメール
  - ■ 100Kバイトを超えるファイルが添付されているメール
  - ■ 10000バイト以下の添付ファイルが合計11件以上添付されているメール
  - ■ ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画ファイルまたは10000バイトを超えるメロディ（SMF）ファイルが合計２件以上添付されているメール
  - ■ ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画ファイルまたは10000バイトを超えるメロディ（SMF）ファイルを除く添付ファイルの合計サイズがメール本文と合わせて10000バイトを超えるメール

データを管理する

データBOXには次のフォルダがあります。

データBOX
- マイピクチャ .... 撮影した静止画やダウンロードした画像が保存されます。（☞P.343）
- ｉモーション .... FOMA端末で撮影した動画やボイスレコーダーで録音した音声、取得したｉモーションが保存されます。（☞P.359）
- メロディ .... メロディが保存されます。（☞P.378）
- キャラ電 .... キャラ電が保存されます。（☞P.371）
- マイドキュメント........ PDFデータが保存されます。（☞P.405）
- プリント指定（DPOF）... miniSDメモリーカードに保存された静止画のプリント指定の枚数などが、miniSDメモリーカードに保存されます。（☞P.425）

フォルダを作成・編集・削除する

データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マイドキュメントにそれぞれ最大20個のフォルダを作成して、データを管理できます。
- フォルダに保存されているデータを表示するときに、端末暗証番号の入力が必要になるよう設定することもできます。

削除について

フォルダは次のいずれかの方法で削除できます。

全件削除	すべてのフォルダを削除します。
フォルダ１件削除	フォルダを１件ずつ削除します。
フォルダ選択削除	複数のフォルダを選んでまとめて削除します。

- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。
- 保存されているデータごと削除されます。
- フォルダ内に保護されているデータが保存されているときは、フォルダ削除できません。保護を解除して、やり直してください。

マイピクチャを例に説明します。

関 連 操 作

データBOXをPIMロックする＜セキュリティ設定＞
待受画面で● 7 ▶ *（１秒以上）▶ 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力 ▶ ● ▶ 1

フォルダを作成する＜フォルダ新規作成＞
待受画面で● 7 1 ▶ 📷 ▶［フォルダ新規作成］▶ ● ▶ フォルダ名を入力 ▶ ●

フォルダセキュリティを設定する＜フォルダセキュリティ＞
1. 待受画面で● 7 1 ▶ フォルダ ▶ 📷 *（１秒以上）
2. 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力 ▶ ● ▶ 1
   - 設定を解除するとき：端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力 ▶ ● ▶ 2

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

関連操作

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

待受画面で◉ 7 1 ▶フォルダ▶ ▶［フォルダ名編集］▶◉▶フォルダ名を編集▶◉

- フォルダ名を削除するとき：フォルダ名編集画面で CLR（1秒以上）

フォルダを削除する<削除>

1 待受画面で◉ 7 1 ▶フォルダ▶ ▶［削除］▶◉
2 3 ▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉
  - すべてのフォルダを削除するとき：2 ▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉
  - 複数のフォルダを選んでまとめて削除するとき：4 ▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶フォルダ◉（くり返し）▶ ［完了］
3 ［はい］▶◉

お知らせ

フォルダ作成について

- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

フォルダセキュリティについて

- フォルダセキュリティを［ON］に設定すると、データ一覧を表示するときに端末暗証番号（4～8桁の数字）の入力が必要になります。
- フォルダセキュリティを［ON］に設定できるのは、作成したフォルダのみです。
- フォルダセキュリティは、FOMA端末（本体）のフォルダのみ設定できます。

フォルダ名編集について

- 自分で作成したフォルダ以外は変更できません。

データを保護・削除・ソートする

データを保護したり、削除や並べ替えなどができます。

- キャラ電の管理については、P.376を参照してください。

削除について

データは次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	データを1件ずつ削除します。
フォルダ内全件削除	フォルダ内のすべてのデータを削除します。
全件削除	すべてのデータを削除します。
選択削除	複数のデータを選んでまとめて削除します。最大50件まで選択できます。

- 保護されたデータは、1件削除／選択削除以外では削除できません。

並べ替え（ソート）について

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

日付順（新→旧）	保存した日付の新しい順
日付順（旧→新）	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、（半角数字→半角英大文字→半角英小文字→半角カタカナ→全角数字→全角英大文字→全角英字小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2）の順
ファイル取得元順※	ファイルによって、カメラ撮影画像→ダウンロード（iモード／iモードメール／iアプリ）→miniSDメモリーカード／赤外線／USB→テレビ電話→キャラ電→PDFから取得の順
サイズ順（大→小）	サイズの大きい順
サイズ順（小→大）	サイズの小さい順

※ データの種類により取得元は異なります。

- お買い上げ時は、［日付順（新→旧）］に設定されています。

ファイル制限設定について

静止画や動画のメール添付や、FOMA端末外への出力ができないように設定できます。

- FOMA端末で撮影したデータをファイル制限設定すると、お客様がｉモードメールに添付して送信することはできますが、受け取った相手がさらに他の方に送信することはできなくなります。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータや、ｉモードメールに添付されているデータ、テレビ電話中に撮影した静止画メモ、ｉアプリから保存したデータのファイル制限設定を変更することはできません。
- FOMA SH901iSで撮影、または編集して作成したデータのみ設定を変更できます。
- FOMA SH901iSで撮影した動画であっても、サイトやインターネットホームページから取得したｉモーションや、ｉモーションメールの本文中に表示されているURLから取得したｉモーションのファイル制限設定を変更することはできません。

詳細情報について

表示される情報は次のとおりです。

項　目	マイピクチャ	ｉモーション	メロディ	PDF
保存日時	○	○	○	○
保存日時（Exif）（カメラ撮影画像のみ）	○	－	－	－
作成日時	－	○	○（MFiのみ）	○
表示サイズ※1（Flash画像、デコメールテンプレートを除く）	○	○	－	－
ファイルサイズ	○	○	○	○
ファイルサイズ（映像部）（JPEG画像のみ）	○	－	－	－
ファイル形式（Flash画像を除く）	○	○	○	○
ファイル制限［あり／なし］	○	○	○	○
保護設定［あり／なし］※2（デコメールテンプレートを含む）	○	○	○	○
音色設定※2	－	○	○	－
画面設定※2	○	○	－	－
電話帳設定※2	○	○	○	－
スケジュール／ToDo設定※2	○	○	○	－
テレビ電話設定※2	○	－	－	－
伝言メモ設定※2	○	－	－	－
所有者情報設定※2	○	－	－	－
デイリーアラーム設定※2	－	○	○	－

項　目	マイピクチャ	ｉモーション	メロディ	PDF
スライドショー設定	－	－	○	－
作成者	－	○	－	－
コピーライト	－	○	－	－
説明	－	○	－	－
ファイル名	○	○	○	○
撮影日時（JPEG画像のみ）	○	－	－	－
オリジナルタイトル	－	○	○	－
再生回数制限［MobileMP4／MP4］※3	－	○	－	－
再生期限制限［MobileMP4／MP4］※3	－	○	－	－
再生期間制限［MobileMP4／MP4］※3	－	○	－	－
音［AAC/AMR/G.726］※4	－	○	－	－
取得元	○	○	○	○
故障時退避可否［可／不可］※2※5（デコメールテンプレートを除く）	○	－	○	○
着信音設定［可／不可、MobileMP4／MP4］	－	○	－	－
着信画面設定［可／不可］	－	○	－	－
サラウンド再生［可／不可］	－	○	－	－

※1　表示サイズは数値（ドット）で表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

※2　マイピクチャのデコメールテンプレートやminiSDメモリーカードの情報表示では、表示されません。
※3　再生制限がない場合は表示されません。
※4　音声のない動画／ｉモーションの場合は、表示されません。
※5「可」になるのは、移行を許可されたダウンロードした静止画やメロディ、PDFです。

マイピクチャを例に説明します。

関連操作

タイトルを変更する<タイトル編集>

1 待受画面で◉71▶フォルダ▶◉▶データ▶m▶［タイトル編集］▶◉
2 タイトルを編集▶◉
- タイトルを削除するとき：タイトル編集画面でCLR（1秒以上）

データを削除する<削除>

1 待受画面で◉71▶フォルダ▶◉▶データ▶m▶［削除］▶◉
- miniSDメモリーカード内のデータを削除するとき：フォルダ一覧画面でm#▶フォルダ▶◉▶データ▶m▶［削除］▶◉

2 1
- フォルダ内のすべてのデータを削除するとき：2▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉
- すべてのデータを削除するとき：3▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉
- 複数のデータを選んでまとめて削除するとき：4▶データ◉（くり返し）▶i［完了］

3［はい］▶◉

データを保護する<保護設定>

1 待受画面で◉71▶フォルダ▶◉▶データ▶m▶［保護設定］▶◉
2 1
- 保護を解除するとき：2

データを別のフォルダに移動する<移動>

1 待受画面で◉71▶フォルダ▶◉▶データ▶m▶［移動］▶◉
2 1
- フォルダ内のすべてのデータを移動するとき：2▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉
- 複数のデータを選んで移動するとき：3▶データ◉（くり返し）▶i［完了］

3 フォルダ▶◉

ファイル名を変更する<ファイル名編集>

待受画面で◉71▶フォルダ▶◉▶データ▶m▶［ファイル名編集］▶◉▶ファイル名を編集▶◉
- ファイル名を削除するとき：ファイル名編集画面でCLR（1秒以上）

データを並べ替える<ソート>

待受画面で◉71▶フォルダ▶◉▶m▶［ソート］▶◉▶ソート方法▶◉

静止画や動画のFOMA端末外への出力を制限する<ファイル制限設定>

1 待受画面で◉71▶フォルダ▶◉▶データ▶m▶［ファイル制限設定］▶◉
2 2
- 制限を解除するとき：1

詳細情報を表示する<情報表示>

待受画面で◉71▶フォルダ▶◉▶データ▶m▶［情報表示］▶◉
- 確認を終わるとき：◉［確認］

お知らせ

タイトルの変更について
- タイトル名はデータ一覧などで表示される名前です。また、ファイル名はデータをｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。
- 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
- 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角7文字（半角14文字）です。
- miniSDメモリーカードの［ミュージック・ボイス］フォルダ内のデータは、タイトル編集できません。

次ページへ続く▶▶

関連操作

お知らせ

データの削除について

- マイピクチャの［プリインストール］フォルダ内のデータと、メロディの［プリインストール］フォルダ内のデータは削除できません。
- 保護設定したデータや、各種機能に設定しているデータを削除するときは、1件削除または選択削除を行います。

データの保護について

- miniSDメモリーカードに保存されているデータは、保護設定できません。
- 待受画面、発着信画面、メール送受信画面、ピクチャーコール、背景パターン、スケジュール、着信音、アラーム音、効果音に設定したデータは、自動的に保護設定されます。画面や音設定への設定を解除しても、保護設定は自動解除されません。
- お客様のFOMA端末を修理する際、お客様の情報内容をドコモ指定の故障取扱窓口にて移行することが可能かどうかを確認いたします。（万が一、お客様の情報内容の移行ができない場合および情報内容の消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。）

別のフォルダへの移動について

- 選択移動するときは、最大50件まで選択できます。
- miniSDメモリーカードのメモリの空き容量がない場合は、miniSDメモリーカード内で別のフォルダに移動することはできません。
- miniSDメモリーカードの場合、移動先フォルダ内の静止画や動画／ｉモーション、メロディ、PDFのデータ数が400件を超えると、超えた分のデータは移動できません。
- miniSDメモリーカードの［ミュージック・ボイス］フォルダ内のデータは移動できません。

ファイル名の変更について

- ファイル名は、最大半角36文字まで入力できます。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータや、ｉモードメールに添付されているデータ、ｉアプリから保存したデータで、ファイル制限が［あり］のデータや、テレビ電話中に撮影した静止画メモ、miniSDメモリーカードに保存されているデータのファイル名は編集できません。

メモリの使用状況を確認する<メモリ確認>

確認できる内容は次のとおりです。

項　目	内　容
電話帳、スケジュール、ToDo	残り件数・登録件数・シークレット件数
ブックマーク、テキストメモ	残り件数・登録件数
受信メール、送信メール、メッセージR／F、画面メモ	使用率（%）
SMS送信、SMS受信	登録件数／20件
データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電、マイドキュメント、ｉアプリ	合計の使用率（%）
miniSDメモリーカード	容量・使用容量・空き容量
FOMAカード	電話帳残り件数／登録件数・SMS使用率（%）

- シークレットデータの件数は、シークレットモードを［ON］に設定しているときのみ表示されます。（☞P.156）

データ表示／編集／管理

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

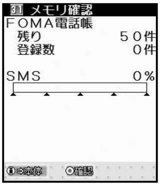
1 待受画面で◉ 3 1 を押す。



本体



miniSD
メモリーカード



FOMAカード

- TOPメニューから（設定）→［一般設定］→［メモリ確認］の順に選択することもできます。
- miniSDメモリーカードやFOMAカードのメモリ使用状況を確認するときは、［⇒miniSD］を押します。miniSDメモリーカード使用状況が表示されます。もう一度［FOMAカード］を押すと、FOMAカードの使用状況が表示されます。
- 現在のメモリの使用状況が表示されます。
- 各画面のインジケータ、および目盛は目安です。
- 本体のメモリ確認中に、他の機能のメモリ使用状況を表示するときは、を押します。
- 確認を終了するときは、◉［確認］またはCLRを押します。
- 電話帳の登録数はシークレットデータを含んで表示されます。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

メモリが足りなくなったり、保存件数をオーバーしたときは、データやファイルを保存できません。miniSDメモリーカードなどに保存したり、不要なファイルの削除をおすすめします。

- 保存件数を超えたときは、メモリに空きがあっても保存できません。不要なデータを削除してから保存してください。
- 画像やメロディ、iアプリのソフトなどは、保存の途中で不要なデータやファイルを削除して保存することもできます。
- FOMA端末（本体）のメモリが少なくなったときや、なくなったときは、待受画面に［M］［M］が表示されます。

M（黄色）	メモリの空き容量が1.2Mバイト未満になったときに表示されます。
M（赤色）	メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。

赤外線通信

赤外線通信について

赤外線通信機能を搭載したほかのFOMA端末などと、電話帳やスケジュール、メール、静止画などのデータを送受信したり、iアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能を搭載した機器と連動したりできます。

- FOMA端末の赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になります。そのため、着信、通話、iモード、iモードメール送受信、SMS送受信、メッセージR／F受信などはできません。
- 通話中は、赤外線通信できません。

各種ロック中の動作について

- オールロック中やセルフモード中は、赤外線通信できません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳の送受信ができません。
- PIMロック中は、ロックされている機能のデータの送受信ができません。たとえば、電話帳のPIMロック中、電話帳を送受信できません。ただし、PIMロックを一時解除することで送信することができます。

赤外線通信を行うと

赤外線通信機能では、次のデータを送受信できます。

FOMA端末から送信できるデータ

機　能	1　件	全　件	備　考
電話帳	○	○	1件送信ではグループ情報、メモリ番号は送信されません。シークレット登録した電話帳はシークレットモードを［ON］に設定しないと1件送信できません。また、画像データ、シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ、指定メール着信ランプ設定、キャラ電設定は送信できません。電話帳全件送信は、所有者情報も送信されます。
スケジュール	○	○	シークレット登録したスケジュールはシークレットモードを［ON］に設定しないと1件送信できません。また、アラーム時刻以外のアラーム情報および連絡先、画像設定の情報は送信されません。また、終了日時が設定されていないデータは、終了日時に開始日時を設定して送信されます。スケジュールの録画データのうち、チャンネル情報、録画ON／OFF情報については転送されません。
ToDoリスト	○	○	シークレット登録したToDoリストはシークレットモードを［ON］に設定しないと1件送信できません。なお、全件送信の場合、シークレットで登録されたデータも送信され、受信側では通常のデータとして保存されます。アラーム時刻以外のアラーム情報（連絡先、アラーム音選択、アラーム音量選択、鳴動時間の設定）は送信できません。
テキストメモ	○	○	－
ｉモードメール、SMS	○	○	貼り付けられたデータ、添付ファイル、保護メールも送信されます。 添付不可のデータは送信できません。 ファイルサイズが10Kバイト以上の添付ファイルは送信できません。
ブックマーク	○	○	フォルダ情報は送信できません。
データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ、PDF	○	×	サイトやインターネットホームページからダウンロードしたり、受信したｉモードメールに添付されたデータで、ファイル制限ありのデータは送信できません。FOMA端末にあらかじめ内蔵されているデータは送信できません。送信できるPDFデータは、1.2Mバイトまでです。
所有者情報	○（指定なし）		受信側では電話帳として保存されます。

FOMA端末で受信できるデータ

機　能	1　件	全　件	格納場所	格納順
電話帳	○	○	電話帳	1件受信時メモリ番号は［010］以降で一番若い空き番号が自動的に付加されます。電話帳全件受信は、自局番号以外の所有者情報は上書きされます。名前が未登録のデータが送信されたときは［No Name］と表示されます。
スケジュール	○	○	スケジュール	開始日時順に登録されます。
ToDoリスト	○	○	ToDoリスト	期限順に登録されます。
テキストメモ	○	○	テキストメモ	最終修正日時順に登録されます。
ｉモードメール、SMS	○	○	ｉモードメール、SMS	受信日時／送信日時／保存日時順に登録されます。
ブックマーク	○	○	ブックマーク	一番上に登録されます。
データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ、PDF	○	×	データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マイドキュメント	先頭から順に登録されます。
所有者情報	○（指定なし）		所有者情報	電話帳として保存されます。

データ表示／編集／管理

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

お知らせ

- miniSDメモリーカード内のデータは送受信できません。
- 全件受信時に上書きを選択すると、該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- FOMAカード内の電話帳は送受信できません。
- ブックマークを送受信した場合、相手の機種によってはフォルダ分けの設定が反映されない場合があります。

電話帳の１件送受信について

- 受信した電話帳のデータは、メモリ番号［010］以降で一番若い空き番号が自動的に付加されます。ただし、［010］以降に空きがないときは、［000］以降の空き番号に付加されます。
- グループ番号はすべて［指定なし］になります。
- シークレットコードは送信されません。

電話帳の全件受信について

- 全件受信時は、メモリ番号、シークレット設定、グループ名、グループ番号も登録されます。

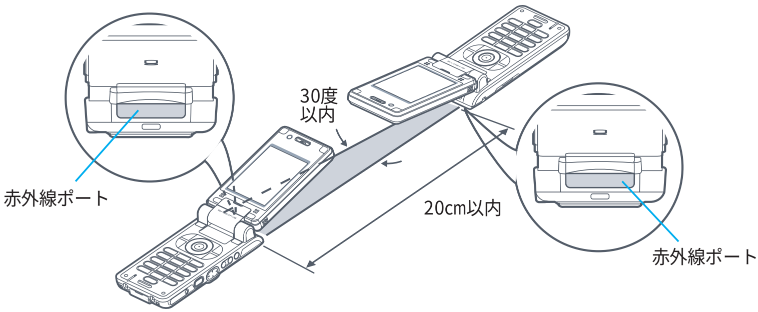
メールの１件送受信について

- ｉアプリToが貼り付けられたｉモードメールの貼り付け情報は、削除され、送受信されません。

絵文字の送受信について

- 絵文字が登録できる機能については、絵文字を送受信できます。ただし、ｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

赤外線通信機能をお使いになるときのご注意



- 机などの安定した台の上に受信側、送信側のFOMA端末を置き、20cm以内に近づけます。このとき、上の図のように両方の赤外線ポートが向き合うようにします。
- データを受信すると受信側に、［○○○ 保存しますか？］と表示されます。［はい］［いいえ］を選択するまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままになるように、動かさないでください。
- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線通信ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。

お知らせ

- 赤外線通信が正常にできなかったときは、次のメッセージが表示されます。
  ［認証に失敗しました　続けますか？］
  ［接続相手が見つかりません　続けますか？］
  このようなときは、［はい］を選択すると、もう一度通信をやり直すことができます。
- 正常に通信できなかったときは、FOMA端末を近づけてもう一度通信してください。
- 赤外線通信で画像を送信すると元の画像より画質が劣化したりファイルサイズが変わる場合があります。
- タイトルが全角10文字（半角19文字）以上の静止画を赤外線送信しても、受信側の機器によっては、全角９文字（半角18文字）までしか受信できません。

認証パスワードについて

全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。

- 端末暗証番号には、FOMA端末に設定されている現在の端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力します。
- 認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。赤外線通信するたびに変更してもかまいません。

データを1件ずつ送受信する

赤外線通信を利用して、FOMA端末のデータを1件ずつ送受信できます。

- 送受信できるデータについては、P.398を参照してください。

データを1件送信する＜赤外線送信＞

送信したいデータのリスト画面や内容表示画面から操作します。

例：電話帳の場合

1 電話帳リスト画面（☞**P.109**）や内容表示画面（☞**P.109**）でデータを選んで[メニュー]を押し、［赤外線送信］を選んで●を押す。



- サブメニューの番号を入力して操作できますが、番号は送信するデータの種類や画面によって異なります。

2 受信側の**FOMA**端末を1件受信待ち状態にし、[1]［送信］を押し、［はい］を選んで●を押す。

- 送信が開始されます。
- 送信が完了すると、［通信終了しました］と表示され、元の画面に戻ります。

データを1件受信する＜赤外線受信＞

赤外線通信を利用した1件受信は、赤外線受信画面から操作します。

1 待受画面で●[8][3][1]を押し、［はい］を選んで●を押す。





電話帳を受信した場合

- TOPメニューから[ツール]（ツール）→［赤外線受信］→［受信］の順に選択することもできます。
- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に受信します。
- 受信が完了すると、確認画面が表示されます。

2 ［はい］を選んで●を押す。

- 同じ内容のブックマークが存在するときは、［同一ブックマークが存在します　保存しますか？］と表示されます。現在のデータに上書きするときは、［はい］を選んで●を押します。

データを全件送受信する

赤外線通信機能を利用して、FOMA端末のデータを全件送受信できます。
- 送受信できるデータについては、P.398を参照してください。

データを全件送信する＜赤外線全件送信＞

送信したいデータのリスト画面から操作します。

例：電話帳の場合

1 電話帳リスト画面（☞P.109）で[メニュー]を押し、［赤外線送信］を選んで◉を押す。
- サブメニューの番号を入力して操作できますが、番号は送信するデータの種類や画面によって異なります。
- 赤外線送信画面が表示されます。

2 [2]［全件送信］を押す。
- 端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 受信側のFOMA端末を全件受信待ち状態にし、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。
- 入力した端末暗証番号は、［＊］で表示されます。
- 認証パスワード入力画面が表示されます。

4 認証パスワード（4桁の数字）を入力し、［はい］を選んで◉を押す。
- 受信側で入力した認証パスワードと一致すると、送信が開始されます。
- 送信が完了すると、［通信終了しました］と表示され、元の画面に戻ります。

お知らせ
- ブックマークを全件送信すると、受信側のブックマーク一覧画面では利用された古い順に表示されます。
- スケジュールを全件送信するときは、カレンダー表示またはスケジュール全件表示にしてから操作してください。

データを全件受信する＜赤外線全件受信＞

赤外線通信を利用した全件受信は、赤外線受信画面から操作します。
- 全件受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要です。
- 全件受信すると、受信したデータにより上書きされ、登録していたデータはすべて削除されますので、ご注意ください。

1 待受画面で◉[8][3][2]を押し、［はい］を選んで◉を押す。
- TOPメニューから[ツール]（ツール）→［赤外線受信］→［全件受信］の順に選択することもできます。
- 端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。
- 入力した端末暗証番号は、［＊］で表示されます。

3 送信側のFOMA端末を全件送信状態にする。
- 送信側で入力した認証パスワードを覚えておいてください。
- 認証パスワード入力画面が表示されます。

4 送信側と同じ認証パスワード（4桁の数字）を入力する。
- 30秒以内に相手側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に受信します。
- 認証パスワード入力後に全件受信を中止するときは、◉［中止］を押します。

次ページへ続く

5 ［はい］を選んで●を押す。

お知らせ

● ブックマークを全件受信すると、利用された古い順に表示されます。

ｉアプリと連携して赤外線通信を行う

実行中のソフトから、赤外線通信機能（☞P.397）を利用できます。また、赤外線通信からｉアプリを起動することもできます。

● セルフモード中は、赤外線通信機能を利用できません。
● ｉアプリのPIMロック中はｉアプリを起動できません。

ｉアプリから赤外線通信を起動する

1 ソフト実行中に赤外線通信を起動し、［はい］を選んで●を押す。

● 赤外線通信の起動方法は、ソフトによって異なります。
● 赤外線通信を開始します。
● 赤外線通信を中止するときは、［通信中］と表示されているときに、［中止］を選んで●を押します。

赤外線通信からｉアプリを起動する

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からの赤外線通信中に、ｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトを起動できます。

● ｉアプリTo設定を［許可しない］に設定しているときは、赤外線通信からｉアプリを起動できません。
● ｉアプリ待受画面として起動することはできません。

1 待受画面で●[8][3][1]を押す。

● 受信待ち状態になります。詳しくは、P.400「データを１件受信する<赤外線受信>」の操作１を参照してください。

2 送信側からｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトが起動する。

お知らせ

● ｉアプリ起動設定に該当するソフトがない場合は、［指定されたソフトがありません］と表示されます。

赤外線リモコン

赤外線リモコン機能を利用する

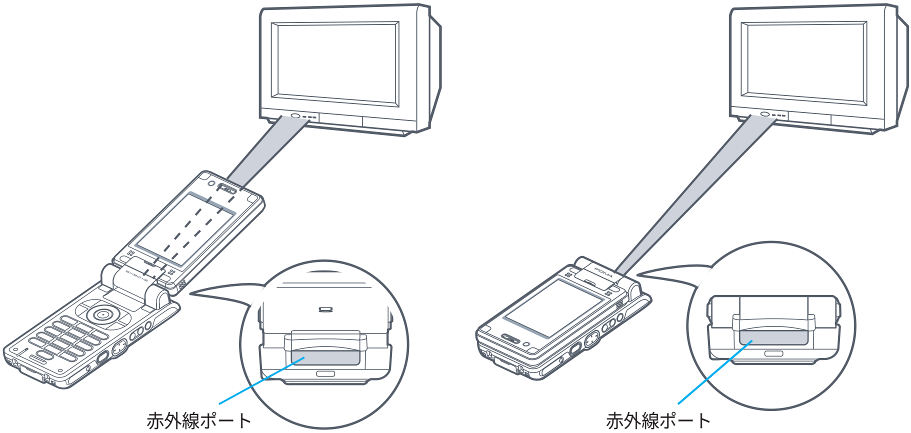
ｉアプリのソフトからFOMA端末の赤外線ポートを利用して、テレビやビデオなど赤外線リモコンに対応した機器を操作できます。

● 赤外線リモコン機能に対応したｉアプリのソフトが必要です。（お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」は、赤外線リモコン機能に対応しています。）
● セルフモード中は、赤外線リモコン機能を使用できません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

リモコン操作を行う

赤外線リモコン機能に対応したｉアプリを起動し、FOMA端末の赤外線ポートをテレビやビデオなどのリモコン受光部の正面に向けて、リモコン操作を行います。



- 実際の操作方法はｉアプリのソフトによって異なります。「Gガイド番組表リモコン」については、P.317を参照してください。
- 操作できる距離は、およそ4mです。（相手側の機器や周囲の明るさなどによって、変わります。）
- 赤外線リモコンの送信中は、[ ] が点滅します。

お知らせ

- 相手側の機器によっては、正常に操作できない場合があります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは、正常に操作できない場合があります。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます。
ボイスレコーダーは、動画撮影機能を利用したもので、[音声のみ]（＝映像なし）の動画データとして保存されます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.381）

- 録音データは、データBOXのｉモーションの［カメラ撮影］フォルダに、ｉモーションと合わせて最大200件保存できます。（録音時間により保存件数は変わります。）
  - ■ 録音データは、miniSDメモリーカードの［ミュージック・ボイス］フォルダに、音声のみの動画データとして最大100件保存できます。（録音時間により保存件数は変わります。）
- 録音時間の目安は、FOMA端末（本体）に保存する場合、1件あたり最大約5分です。32M バイトの miniSDメモリーカードに保存する場合は、最大約5時間です。
- 録音した音声は、ビデオプレーヤ（☞P.359）で再生できます。
- 録音したデータは、ファイル制限なしのファイルとして保存されます。
- 録音距離は、1.5m以内をおすすめします。
- お買い上げ時の保存先はFOMA端末（本体）のデータBOXのｉモーションの［カメラ撮影］フォルダに設定されています。
- レコーダー設定保持を［ON］に設定すると、設定を記憶しておくことができます。

録音する

1 待受画面で◉ 8 1 を押し、◉を押す。

- TOPメニューから（ツール）→［ボイスレコーダー］の順に選択することもできます。
- 録音が開始されます。
- 録音を開始すると、シャッター音が鳴り、ピクチャーライトが自動的に点滅します。録音を終了すると自動的に消灯します。（録音中に消灯させることはできません。）

2 録音を止めるときは◉を押す。

- 保存画面が表示されます。
- 残時間表示が00:00:00になったとき（録音中にファイルサイズ制限に達したときや、miniSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき）は、自動的に録音が停止します。

3 1［保存］を押す。

- 録音した音声は、データBOXのｉモーションの［カメラ撮影］フォルダに保存されます。
- 録音を再開するときは、2［再開］を押します。残時間表示が［00:00:00］のときは再開できません。
- 録音した音声を再生するときは、3［再生］を押します。再生を一時停止するときは◉［一時停止］、停止するときは［停止］を押します。CLRを押すと、元の画面に戻ります。
- 録音した音声を添付したｉモードメールを作成するときは、［メール］を押します。ｉモードメールの作成については、P.194を参照してください。
- 保存しないときは、4［取消］を押し、［はい］を選んで◉を押します。
- 保存先フォルダ指定が設定されているときは、設定されているフォルダに保存されます。（☞P.192）
- FOMA端末（本体）に保存するときに、メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます。（☞P.393）

お知らせ

- 保存確認画面で再生したあとに、再開することはできません。
- 録音中に FOMA端末を閉じると、録音が自動的に停止し、保存の確認画面が表示されます。保存の方法については、操作３を参照してください。
- 録音中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、録音が自動的に停止し、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。再開することはできません。
- 録音した音声は、ビデオプレーヤで再生できます。ｉモーション画面で［カメラ撮影］（FOMA端末（本体）保存の場合）または［ミュージック・ボイス］（miniSDメモリーカード保存の場合）を選択します。（☞P.363）
- ファイルサイズ制限が［制限なし］のときは、ｉモードメールに添付できません。ただし、ファイルサイズが500Kバイト以内の場合は、添付できます。

ボイスレコーダーの設定を変える

ボイスレコーダーでは次の設定ができます。詳しくは、動画撮影を参照してください。

項目		説明
データBOX表示		指定されている保存先フォルダのファイルを表示します。
セルフタイマー		［ON］に設定すると、録音するまでの時間を［２秒］［５秒］［10秒］から選択できます。（☞P.183）
ファイルサイズ制限		miniSDメモリーカードに保存するときは、［メール用（短）］［メール用（長）］［制限なし］のいずれかに設定できます。FOMA端末（本体）に保存するときは、［メール用（短）］［メール用（長）］のどちらかに設定できます。（☞P.183）
レコーダー設定	ノイズキャンセラ	音声のノイズを少なくするときに設定します。（お買い上げ時：［ON］）（☞P.188）
	本体保存先指定	FOMA端末（本体）に保存するときの、保存先フォルダを指定します。（☞P.192）
	レコーダー設定保持	［ON］に設定すると、ボイスレコーダーの設定を記憶しておくことができます。（お買い上げ時：［ON］）（☞P.194）
	点灯時間設定	バックライトの点灯時間を設定できます。（☞P.187）
本体⇔miniSD切替		保存先を切り替えることができます。（☞P.191）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

関 連 操 作

データBOXを表示する<データBOX表示>
待受画面で●81▶📷2

セルフタイマーを設定する<セルフタイマー>
1 待受画面で●81▶📷4
2 1
- 時間を変更するとき：3▶時間▶●
- 解除するとき：2

ファイルサイズ制限を設定する<ファイルサイズ制限>
待受画面で●81▶📷9▶ファイルサイズ▶●

ノイズキャンセラを設定する<ノイズキャンセラ>
1 待受画面で●81▶📷▶［■レコーダー設定］▶●▶1
2 1
- 設定しないとき：2

本体保存先を設定する<本体保存先指定>
待受画面で●81▶📷▶［■レコーダー設定］▶●▶2▶フォルダ▶●

レコーダー設定保持を設定する<レコーダー設定保持>
1 待受画面で●81▶📷▶［■レコーダー設定］▶●▶3
2 1
- 設定しないとき：2

点灯時間を設定する<点灯時間設定>
1 待受画面で●81▶📷▶［■レコーダー設定］▶●▶5
2 2［常にON］
- 照明設定に従うとき：1［照明設定に従う］

保存先を切り替える<本体⇔miniSD切替>
待受画面で●81▶📷#

PDF対応ビューア

PDFデータを表示する

FOMA端末（本体）やminiSDメモリーカード内のPDFデータを表示したり、AV出力することができます。また、サイトやインターネットホームページからPDFデータをダウンロードして表示・保存することもできます（☞P.227）。

- 表示するファイルはあらかじめデータBOXのマイドキュメント、またはminiSDメモリーカードの\PRIVATE\DOCOMO\DOCUMENT\PUDxxxフォルダに置いてください。miniSDメモリーカードに保存する場合、ファイル名を「PDFDCxxx.PDF」に変更してから保存し、miniSDメモリーカードの管理情報を更新してください。（フォルダ名の「xxx」は、001～999の半角数字）（☞P.384、P.390）
- miniSDメモリーカード内のPDFデータを表示するときは、あらかじめminiSDメモリーカードを装着しておいてください。

※ パソコンでは、ファイルの種類を識別するために、ファイル名の末尾に「.pdf」などの拡張子と呼ばれる英数字を付けています。（パソコンの設定によっては、表示されない場合があります。）詳しくは、ご使用のパソコンやソフトウェアに付属の取扱説明書などをご覧ください。

1 待受画面で●93を押す。
- TOPメニューから（ケータイビューア）→［PDF対応ビューア］の順に選択することもできます。
- TOPメニューから（データBOX）→［マイドキュメント］の順に選択することもできます。
- 待受画面で●75を押しても操作できます。
- PDF対応ビューアのフォルダ一覧画面が表示されます。

次ページへ続く▶▶

2 フォルダを選んで◉を押す。



- ファイル一覧画面が表示されます。

次のページを表示する	
前のページを表示する	
miniSDメモリーカード内のPDFデータを表示する	#

- ｉモードなどでダウンロードしたPDFデータには［ ］が、miniSDメモリーカードから取得したPDFデータには［ ］が表示されます。
- ファイル制限ありのPDFデータには［ ］が表示されます。

3 ファイルを選んで◉を押す。



内容表示画面

- 最初のページが表示されます。
- 表示倍率などの表示方法が設定されているPDFデータは、設定にしたがって表示されます。

画面スクロール	上下	上： 下：
	左右	左： 右：
ページ全体を表示		◉［フィット］
等倍で表示（［フィット］表示のとき）		◉［等倍］
静止画として保存		［切出］→［はい］→◉ ● 画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存することができます。
次のページ		
前のページ		
終了		 ● 保存されていないファイルがある場合は、保存確認画面が表示されます。

お知らせ

- マルチメディアのPIMロック中（☞P.153）にファイルを表示するときは、端末暗証番号の入力が必要です。
- 現在のPDFデータの参照先（FOMA端末（本体）またはminiSDメモリーカード）は、PDF対応ビューアをいったん終了しても記録され、次回、PDF対応ビューアを起動したときも同じ参照先となります。
- PDFデータによってはパスワードの入力が必要な場合があります。パスワード（最大32桁）を入力して◉を押してください。
- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能（☞P.39）がはたらき、サイトなどからダウンロードしたPDFデータは表示できません（削除することはできます）。元のFOMAカードを挿入し直すと表示できます。
- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。
- 作成したソフトによっては、表示できない場合があります。
- ファイルによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できない場合もあります。

画面切出について

- PDFデータのセキュリティ設定によっては、切り出しできない場合があります。
- 画面切出表示されている文書のイメージを［待受：240×320］のサイズで切り出して、静止画（JPEG画像）としてFOMA端末（本体）に保存できます。
- PDFデータから切り出した画像は、メール送信やminiSDメモリーカードへのコピーなど、FOMA端末の外部に出力することはできません。
- AV出力中は、画面切出できません。

内容表示画面の操作方法

- PDF対応ビューアの内容表示画面では次の機能を利用できます。

リンク表示／ビューア表示	リンク表示とビューア表示を切り替えます。リンク表示にすると、ファイル内へのリンクや、Web To、Mail To、Phone To（AV Phone To）などを利用できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

ズームアウト			画面を倍率10%ずつ縮小表示します。２%まで縮小表示できます。
表示を回転			画面表示を左または右に90度回転して表示します。
ズームイン			画面を10%ずつ拡大表示します。1000%まで拡大表示できます。
画面設定	ページレイアウト	単一ページ	１ページ単位で表示します。（お買い上げ時）
		見開きページ	複数のページがある場合に、２ページ単位で左右に並べて表示します。
	表示	全体表示	ページ全体を表示します。（お買い上げ時）
		実際の大きさ	PDFデータのサイズに合わせて表示します。
		幅に合わせる	PDFデータの横幅をディスプレイの横幅に合わせて表示します。
	スクロールバー表示		スクロールバーを表示するかどうかを設定できます。お買い上げ時は［ON］に設定されています。
	ページ番号表示		ページ番号を表示するかどうかを設定できます。お買い上げ時は［ON］に設定されています。
	拡大率表示		拡大率を表示するかどうかを設定できます。お買い上げ時は［ON］に設定されています。
ページ移動	最初のページ		複数のページがある場合に、最初のページに移動します。
	最後のページ		複数のページがある場合に、最後のページに移動します。
	指定のページ		複数のページがある場合に、文書中のページを指定して表示します。
しおり・マーク	しおり表示	しおり	あらかじめPDFデータに登録されているしおりのタイトルを最大50件まで表示し、選択したしおりにジャンプします。
		追加しおり	追加したしおりを表示し、選択されたしおりにジャンプします。しおりの削除やタイトルの変更、詳細情報を表示することもできます。
	しおりの追加		しおりを追加します。拡大率や、回転した状態を保持したまま追加することもできます。最大10件まで登録できます。
	マーク表示		マークの一覧を表示します。マークの削除や詳細情報を表示することもできます。
	マークの追加		表示されている画面の中央にマークを追加します。最大10件まで登録できます。
保存			PDFデータをFOMA端末（本体）やminiSDメモリーカードに保存します。
検索			最大半角16文字までの文字列を検索し、検索結果を反転して表示します。検索条件を設定することもできます。
情報表示			PDFデータの情報を表示します。表示される情報はファイル名、ファイル形式、ファイル制限、故障時退避可否、ファイルサイズ、取得元、保存日時、作成日時、保護設定です。ただし、miniSDメモリーカード内のPDFデータ表示中は、故障時退避可否、保護設定は表示されません。
全画面表示			ディスプレイに表示されているガイド表示を消し、PDFデータをディスプレイいっぱいに表示できます。
AV出力切替			FOMA端末と専用のケーブルを使って、PDFデータをテレビ画面に表示できます。AV出力については、P.474を参照してください。
ライトアップ			最大の明るさで表示します。
全て取得			未取得のページをすべて取得します。
ボタン操作一覧			ボタン操作一覧を表示します。

関連操作

リンク表示モードにする<リンク表示>

内容表示画面（☞P.406）で▶［■リンク表示］▶●

- 元の表示に戻すとき：▶［ビューア表示］▶●

画面を拡大／縮小する<ズームイン／ズームアウト>

1 内容表示画面（☞P.406）で3

- 縮小して表示するとき：1

2 ズームの中心位置を画面の中央にスクロール▶●

- さらに拡大／縮小するとき：●
- 終了するとき：［完了］またはCLR

次ページへ続く

関連操作

左に90度回転する＜左90度回転＞
内容表示画面（☞P.406）で[m]2 2
- 右に90度回転するとき：[m]2 1

ページのレイアウトを設定する＜ページレイアウト＞
内容表示画面（☞P.406）で[m]4 1▶ページレイアウトの種類▶◉

画面表示方法を設定する＜表示＞
内容表示画面（☞P.406）で[m]4 2▶表示の種類▶◉

スクロールバー、ページ番号、拡大率を表示する＜スクロールバー表示、ページ番号表示、拡大率表示＞
1 内容表示画面（☞P.406）で[m]4
2 スクロールバーを表示するときは3
- ページ番号を表示するとき：4
- 拡大率を表示するとき：5

3 1
- 表示しないとき：2

最初のページを表示する＜最初のページ＞
内容表示画面（☞P.406）で[m]5 1
- 最後のページを表示するとき：[m]5 2

指定したページを表示する＜ページ移動＞
内容表示画面（☞P.406）で[m]5 3▶ページ番号を入力▶◉

しおりを追加する＜しおりの追加＞
1 内容表示画面（☞P.406）で[m]6 2
2 1
- しおりのタイトルを編集してから追加するとき：2▶タイトル編集▶◉
- すでにしおりが10件登録されているとき：1▶［はい］▶◉▶上書きするしおり▶◉

追加しおりの一覧を表示する＜追加しおり＞
1 内容表示画面（☞P.406）で[m]6 1 2
- あらかじめ登録されているしおりの一覧を表示するとき：[m]6 1 1

2 しおりにジャンプするときは、しおり▶◉
- 追加しおりのタイトルを編集するとき：[m]2▶タイトルを編集▶◉
- 追加しおりの詳細情報を表示するとき：[m]3▶確認を終わるときは◉［確認］

追加しおりを削除する＜1件削除＞
1 内容表示画面（☞P.406）で[m]6 1 2▶しおり▶[m]1
2 1▶［はい］▶◉
- すべてのしおりを削除するとき：2▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶［はい］▶◉
- 複数のしおりを選んでまとめて削除するとき：3▶しおり◉（くり返し）▶[i]［完了］▶［はい］▶◉

マークを追加する＜マークの追加＞
1 内容表示画面（☞P.406）で[m]6 4
2 ［はい］▶◉
- すでにマークが10件登録されているとき：［はい］▶◉▶上書きするマーク▶◉

マークの一覧を表示する＜マーク表示＞
内容表示画面（☞P.406）で[m]6 3

マークを削除する＜1件削除＞
1 内容表示画面（☞P.406）で[m]6 3▶マーク▶[m]1
2 1▶［はい］▶◉
- すべてのマークを削除するとき：2▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶［はい］▶◉
- 複数のマークを選んでまとめて削除するとき：3▶マーク◉（くり返し）▶[i]［完了］▶［はい］▶◉

マークの詳細情報を表示する＜詳細情報＞
内容表示画面（☞P.406）で[m]6 3▶マーク▶[m]2
- 確認を終わるとき：◉［確認］

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

関連操作

ファイルをFOMA端末（本体）に保存する<保存>
内容表示画面（☞P.406）で[i][7]▶フォルダ▶[●]

文字列を検索する<検索>
1 内容表示画面（☞P.406）で[i][8][1]▶文字列を入力▶[●]

2 続けて次へ検索するときは[▽]または[i][1]
- 続けて前へ検索するとき：[△]または[i][2]
- 新規検索するとき：[i][3]▶文字列を入力▶[●]
- 検索条件を設定するとき：[i][4]
- 検索を中止するとき：検索中画面で[●]［中止］または[CLR]

3 検索モードを終了するときは[☐]［確認］または[CLR]

検索条件を設定する<検索条件設定>
1 内容表示画面（☞P.406）で[i][8][2]

2 大文字と小文字を区別して検索するときは[1]
- 単語に完全一致する文字列を検索する条件を設定するとき：[2]

3 [1]
- 条件を解除するとき：[2]

文書をディスプレイいっぱいに表示する<全画面表示>
内容表示画面（☞P.406）で[i][0]
- 全画面表示を終了するとき：[0]または[CLR]

全画面表示での操作

上下左右に移動する	[✣]	前のページを表示する	[△]
拡大／縮小する	[3]／[1]	次のページを表示する	[▽]
左に90度回転する	[2]	全体を表示する	[●]［フィット］
表示イメージを静止画として保存する	[☐]［切出］	ライトアップする	[#]（1秒以上）

PDFデータをテレビ画面に表示する<AV出力切替>
- AV出力切替については、P.474を参照してください。

ライトアップする<ライトアップ>
内容表示画面（☞P.406）で[i][#]（1秒以上）

お知らせ

リンク表示について
- リンク表示モードにしたときは、画面をスクロールできません。
- Web To、Mail To、Phone To（AV Phone To）については、P.230を参照してください。

左90度回転について
- 操作するたびに、さらに左（［右90度回転］のときは右）に90度回転して表示します。

ページレイアウトについて
- サイトやインターネットホームページから起動した場合は［単一ページ］で表示され、切り替えできません。

しおり、マークの追加について
- 追加したしおりは追加しおり一覧、追加したマークはマーク一覧の最後に追加されます。
- miniSDメモリーカードや赤外線通信でパソコンなどにPDFデータを移動した場合、追加したしおりが消去される場合があります。

検索について
- 検索文字列入力画面には、前回検索した文字列が表示されます。
- ［次へ検索］を選択したときに最後のページまで検索した場合は、自動的に先頭から検索します。［前へ検索］を選択したときは、自動的に最後のページから検索します。
- 操作2で新規検索したときは、先頭から検索します。前回の検索結果は消去されます。

ボタン操作一覧を表示する<ボタン操作一覧>

内容表示画面でのワンタッチ操作を一覧画面で表示できます。よく使う操作は以下のボタンに割り当てられ、ワンタッチで操作可能です。

1 内容表示画面（☞P.406）で[メール]を押し、[■ボタン操作一覧]を選んで●を押す。

ボタン	操　作	ページ	ボタン	操　作	ページ
[上]	前ページ表示	P.406	6	しおり・マーク	P.406
[下]	次ページ表示		7	保存	
1	ズームアウト※1		8	検索	
2	左90度回転		9	情報表示	
3	ズームイン※2		0	全画面表示	
4	画面設定		*	AV出力切替	
5	指定ページへ移動		#（1秒以上）	ライトアップ	

※1　ボタンを押すたびに小さくなります。ボタンを押し続けると、徐々に小さくなります。
※2　ボタンを押すたびに大きくなります。ボタンを押し続けると、徐々に大きくなります。

PDFデータを管理する

PDFデータをフォルダに分けて管理したり、削除やソートすることができます。
- ファイル制限されていないPDFデータは、タイトルを編集したり、miniSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.385）、赤外線機能を利用して他のFOMA端末などに送信することもできます（☞P.397）。

フォルダを作成・編集・削除する

最大20個のフォルダを作成して、ファイルを管理できます。
- フォルダに保存されているファイルを表示するときに、端末暗証番号の入力が必要になるよう設定することもできます。

■削除について

フォルダは次のいずれかの方法で削除できます。

全件削除	フォルダをすべて削除します。
フォルダ1件削除	フォルダを1件ずつ削除します。
フォルダ選択削除	複数のフォルダを選んでまとめて削除します。

- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。
- 保存されているファイルごと削除されます。
- フォルダ内に保護されているファイルが保存されているときは、フォルダ削除できません。保護を解除して、やり直してください。

関連操作

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>
待受画面で●93▶[メール]1▶フォルダ名を入力▶●
- 「新しいフォルダ」名を削除するとき：CLR（1秒以上）

フォルダセキュリティを設定する<フォルダセキュリティ>
1 待受画面で●93▶フォルダ▶[メール]*（1秒以上）
2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●▶1
- 設定を解除するとき：端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●▶2

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>
待受画面で●93▶フォルダ▶[メール]2▶フォルダ名を編集▶●
- フォルダ名を削除するとき：フォルダ名編集画面でCLR（1秒以上）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

関連操作

フォルダを削除する<削除>

1 待受画面で● 9 3 ▶フォルダ▶ 3

2 3 ▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●▶［はい］▶●

- すべてのフォルダを削除するとき：2 ▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●▶［はい］▶●
- 複数のフォルダを選んでまとめて削除するとき：4 ▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●▶フォルダ●（くり返し）▶［完了］▶［はい］▶●

お知らせ

フォルダ作成について

- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

フォルダセキュリティについて

- フォルダセキュリティを［ON］に設定すると、ファイル一覧を表示するときに端末暗証番号（4～8桁の数字）の入力が必要になります。
- フォルダセキュリティを［ON］に設定できるのは、作成したフォルダのみです。

フォルダ名編集について

- 自分で作成したフォルダ以外は変更できません。

ファイルを保護・削除・ソートする

PDFデータを保護したり、削除や並べ替えなどができます。

削除について

PDFデータは次の方法で削除できます。

1件削除	ファイルを1件ずつ削除します。
フォルダ内全件削除	フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
全件削除	すべてのファイルを削除します。
選択削除	複数のファイルを選んでまとめて削除します。最大50件まで選択できます。

- 保護されたファイルは、1件削除／選択削除以外では削除できません。

並べ替え（ソート）について

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

- PDF対応ビューアを終了しても、表示順番は変更されたままです。

日付順（新→旧）	保存した日付の新しい順
日付順（旧→新）	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、（半角数字→半角英大文字→半角英小文字→半角カタカナ→全角数字→全角英大文字→全角英字小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2）の順
ファイル取得元順※	ファイルによって、ダウンロード（iモード／iモードメール／iアプリ）→miniSDメモリーカード／赤外線／USBから取得の順
サイズ順（大→小）	サイズの大きい順
サイズ順（小→大）	サイズの小さい順

※ ファイルの種類により取得元は異なります。

- お買い上げ時は、［日付順（新→旧）］に設定されています。

次ページへ続く

関 連 操 作

タイトルを変更する<タイトル編集>

1 待受画面で◉9 3▶フォルダ▶◉▶ファイル▶📷1

2 タイトルを編集▶◉

- タイトルを削除するとき：タイトル編集画面でCLR（1秒以上）

ファイルを削除する<削除>

1 待受画面で◉9 3▶フォルダ▶◉▶ファイル▶📷2

- miniSDメモリーカード内のファイルを削除するとき：フォルダ一覧画面で📷#▶フォルダ▶◉▶ファイル▶📷2

2 1▶［はい］▶◉

- フォルダ内のすべてのファイルを削除するとき：2▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶［はい］▶◉
- すべてのファイルを削除するとき：3▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶［はい］▶◉
- 複数のファイルを選んでまとめて削除するとき：4▶ファイル◉（くり返し）▶📄［完了］▶［はい］▶◉

ファイルを保護する<保護設定>

1 待受画面で◉9 3▶フォルダ▶◉▶ファイル▶📷3

2 1

- 保護を解除するとき：2

ファイルを別のフォルダに移動する<移動>

1 待受画面で◉9 3▶フォルダ▶◉▶ファイル▶📷4

2 1▶フォルダ▶◉

- フォルダ内のすべてのファイルを移動するとき：2▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶フォルダ▶◉
- 複数のファイルを選んで移動するとき：3▶ファイル◉（くり返し）▶📄［完了］▶フォルダ▶◉

詳細情報を表示する<情報表示>

待受画面で◉9 3▶フォルダ▶◉▶ファイル▶📷5

- 確認を終わるとき：◉［確認］

ファイルを並べ替える<ソート>

待受画面で◉9 3▶フォルダ▶◉▶📷6▶ソート方法▶◉

お知らせ

タイトルの変更について

- 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
- 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角7文字（半角14文字）です。

ファイルの削除について

- 保護設定したファイルを削除するときは、1件削除または選択削除を行います。

ファイルの保護について

- miniSDメモリーカードに保存されているファイルは、保護設定できません。

別のフォルダへの移動について

- 選択移動するときは、最大50件まで選択できます。

情報表示について

- 表示される情報はファイル名、ファイル形式、ファイル制限、故障時退避可否、ファイルサイズ、取得元、保存日時、作成日時、保護設定です。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

Word、Excelファイルなどを表示する

miniSDメモリーカード内のMicrosoft Wordファイル、Microsoft Excelファイルや画像ファイルなどを、FOMA端末のディスプレイに表示したり、AV出力することができます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.381）

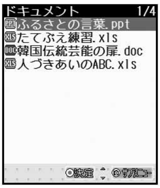
- 表示できるファイルの種類（拡張子※）
  Microsoft Word（.doc）、Microsoft Excel（.xls）、Microsoft PowerPoint（.ppt）、Plain Text（.txt）、JPEG（.jpg、.jpeg）、GIF（.gif）、PNG（.png）、BMP（.bmp）
- 閲覧するファイルはあらかじめminiSDメモリーカードの\PRIVATE\SHARP\DOCUMENTフォルダに置いてください。（☞P.384）
- 操作の前にFOMA端末のminiSDメモリーカードスロットにminiSDメモリーカードを装着しておいてください。
- SH506iC、SH900i、SH901iCをご利用のお客様で、miniSDメモリーカードの\PRIVATE\SHARP\DOCUMENTフォルダにPDFデータを保存している場合は、\PRIVATE\DOCOMO\DOCUMENT\PUDxxxフォルダに移動する必要があります。

※ パソコンでは、ファイルの種類を識別するために、ファイル名の末尾に、「.doc」や「.xls」など拡張子と呼ばれる英数字を付けています。（パソコンの設定によっては、表示されない場合があります。）詳しくは、ご使用のパソコンやソフトウェアに付属の取扱説明書などをご覧ください。

1 待受画面で◉9 2を押す。

- TOPメニューから（ケータイビューア）→［ドキュメントビューア］の順に選択することもできます。
- TOPメニューから（ツール）→［miniSD管理］→［miniSDデータ参照］→［ドキュメントビューア］の順に選択することもできます。
- ドキュメントビューアのフォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選んで◉を押す。

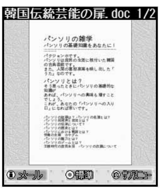


- ファイル一覧画面が表示されます。
  サブメニューの［表示切替］は、静止画が保存されているフォルダを開いているとき操作することができます。

静止画を画像一覧表示する<表示切替>※	9分割表示	📷4→1
	16分割表示	📷4→2
	リスト表示	📷4→3
次のページを表示する		● ビューアポジションのときは、📷（右ガイダンス）を1秒以上押します。
前のページを表示する		● ビューアポジションのときは、ⓘ（左ガイダンス）を1秒以上押します。

※［ドキュメント］フォルダ内のデータはリスト表示されます。9分割表示や16分割表示はできません。

3 ファイルを選んで◉を押す。



内容表示画面

上下左右にスクロールする	上：◯　下：◯　左：◯　右：◯
ディスプレイ中央にページ全体を表示する	◉［標準］
次のページを表示	● ビューアポジションのときは、📷（右ガイダンス）を1秒以上押します。
前のページを表示	● ビューアポジションのときは、ⓘ（左ガイダンス）を1秒以上押します。

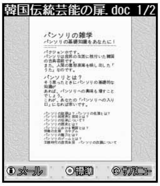
内容表示画面の表示方法

- ドキュメントビューアの内容表示画面では次の機能を利用できます。

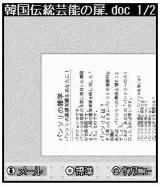
画面縮小	画面を縮小表示します。
縦⇔横表示切替	画面表示の縦／横を切り替えできます。
画面拡大	画面を拡大表示します。

次ページへ続く

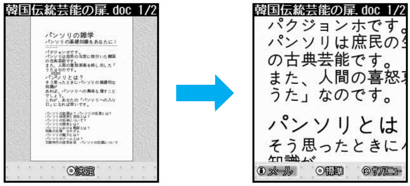
ルーペ	文字を判別するときなどに、カーソルを合わせた部分を画面下部に拡大して表示できます。カーソルの移動に合わせて画面下部の表示も変わります。ルーペ表示部分を拡大／縮小することもできます。
指定位置拡大	カーソル位置を中心に、縦横４倍に拡大して表示できます。
画面内移動	表示中のページ（文書）の左上、右上、左下、右下や中央を、倍率を変えずに表示できます。
ページ指定移動	複数のページがある場合は、文書中のページを指定して表示できます。
自動スクロール	画面を右方向へ自動スクロールします。右端まで表示したら一段下に下がり、左端から右方向へのスクロールをくり返し、画面右下まで表示します。スクロールの速度を変えることもできます。
画面切出	表示されている文書のイメージを［待受：240×320］のサイズで切り出して、静止画（JPEG）としてminiSDメモリーカードに保存できます。
メール	文書のイメージを添付したｉモードメールを作成できます。
全画面表示	ディスプレイに表示されているマークやガイド表示を消し、文書をディスプレイいっぱいに表示できます。
AV出力切替	FOMA端末と専用のケーブルを使って、文書をテレビ画面に表示できます。AV出力については、P.474を参照してください。
ライトアップ	最大の明るさで表示します。
ボタン操作一覧	ボタン操作一覧を表示します。



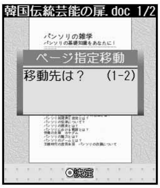
縦表示画面



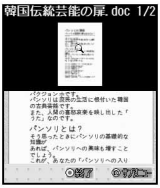
横表示画面



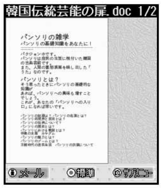
指定位置拡大画面



ページ指定移動画面



ルーペ拡大画面



画面内移動画面
（左上を選んだ場合）

お知らせ

- マルチメディアのPIMロック中（☞P.153）にドキュメントフォルダ以外のファイルを表示するときは、端末暗証番号の入力が必要です。

ドキュメントビューア利用時のご注意

- ファイル内容によっては、パソコンなどの機器で表示した内容と一部異なる場合があります。
  - ■ ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。また、すべてを表示できない場合もあります。
  - ■ ドキュメントビューアが対応しているフォントの種類はパソコンなどと異なっておりますので、フォントの種類によって正しく表示されない場合があります。
  - ■ ファイル名が拡張子を含めて半角64文字以上のファイルは表示されません。
  - ■ Microsoft Excelのワークシートの１つのセルに表示される数値の桁数は、パソコンなどと異なって表示される場合があります。また、元号は表示できません。
- ファイル一覧画面に表示できるのは、１フォルダ255ファイルまでです。
- ドキュメントビューアで表示されるファイルの詳細については、http://k-tai.sharp.co.jp/products/sh901iS.shtmlをご覧ください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

関連操作

画面拡大／画面縮小する＜画面拡大／画面縮小＞

内容表示画面（☞P.413）で3または3

- さらに拡大するとき：3または3
- 縮小して表示するとき：1または1
- さらに縮小するとき：1または1
- 全体を表示するとき：◉［標準］

縦表示／横表示を切り替える＜縦⇔横表示切替＞

内容表示画面（☞P.413）で2または2

- 元の表示に戻すとき：2または2

ルーペで拡大して表示する＜ルーペ＞

内容表示画面（☞P.413）で4または4▶［Q］カーソルを移動

- ルーペ表示部分を拡大／縮小するとき：3または3［画面拡大］／1または1［画面縮小］
- ルーペを終了するとき：◉［終了］またはCLR

指定した部分を縦横４倍に拡大して表示する＜指定位置拡大＞

内容表示画面（☞P.413）で5または5▶［+］カーソルを移動▶◉

ページの端や中央を表示する＜画面内移動＞

内容表示画面（☞P.413）で6または6▶移動方向を選択▶◉

指定したページを表示する＜ページ指定移動＞

内容表示画面（☞P.413）で7または7▶ページ番号を入力▶◉

自動スクロールする＜自動スクロール＞

内容表示画面（☞P.413）で8または8

- 縦表示画面で上下に移動するとき：○
- 横表示画面で上下に移動するとき：○
- 縦表示画面でスクロールの速度を調整するとき：○（速くする）／○（遅くする）
- 横表示画面でスクロールの速度を調整するとき：○（速くする）／○（遅くする）
- 自動スクロールを終了するとき：◉［終了］または8またはCLR

表示イメージを静止画として保存する＜画面切出＞

内容表示画面（☞P.413）で9または9▶［はい］▶◉

表示イメージを添付したｉモードメールを作成する

内容表示画面（☞P.413）で［メール］▶メール作成

文書をディスプレイいっぱいに表示する＜全画面表示＞

内容表示画面（☞P.413）で0または0

- 全画面表示を終了するとき：0またはCLR

全画面表示での操作

- 上下左右に移動するとき：○
- 拡大／縮小するとき：3／1
- 縦表示／横表示を切り替えるとき：2
- 前のページを表示するとき：（ビューアポジションのときは(左ガイダンス)（左ガイダンス）（１秒以上））
- 次のページを表示するとき：（ビューアポジションのときは(右ガイダンス)（右ガイダンス）（１秒以上））
- 全体を表示するとき：◉

文書をテレビ画面に表示する＜AV出力切替＞

- AV出力切替については、P.474を参照してください。

ライトアップする＜ライトアップ＞

内容表示画面（☞P.413）で▶［■ライトアップ］▶◉

- または#（１秒以上）
- 消すとき：同じ操作をする

お知らせ

自動スクロールについて

- 文書全体が表示されている場合や文書の右下部分が表示されているなど、スクロールする範囲がない場合は、自動スクロールはできません。

データ表示／編集／管理

次ページへ続く

関連操作

お知らせ

画面切出について

- miniSDメモリーカードの空き容量がないときは、画面切出できません。
- AV出力中は、画面切出できません。
- アシスタントビューから起動した場合、画面切出できません。

メール作成について

- アシスタントビューから起動した場合、メール作成できません。
- miniSDメモリーカードの空き容量がないときは、メール作成できません。
- AV出力中は、メール作成できません。
- メールから起動した場合、メール作成できません。
- 詳しくは、P.255を参照してください。

AV出力について

- アシスタントビューから起動した場合、AV出力切替できません。
- メールから起動した場合、AV出力できません。
- 詳しくは、P.474を参照してください。

ボタン操作一覧を表示する<ボタン操作一覧>

内容表示画面でのワンタッチ操作を一覧画面で表示できます。よく使う操作は以下のボタンに割り当てられ、ワンタッチで操作可能です。

1 内容表示画面（☞P.413）で[右ガイダンス]を押し、［■ボタン操作一覧］を選んで◉を押す。

ボタン	操　作	ページ
上下左右	上下左右スクロール※1	P.413
[左ガイダンス]※2	前ページ表示	P.413
[右ガイダンス]※3	次ページ表示	P.413
◉［標準］	ページ全体表示	P.413
[i]［メール］	表示イメージをJPEGファイルにして添付したｉモードメールを作成	P.415
1	画面縮小※4	P.415
2	縦⇔横表示切替	P.415
3	画面拡大※5	P.415
4	ルーペ	P.415
5	指定位置拡大	P.415
6	画面内移動	P.415
7	ページ指定移動	P.415
8	自動スクロール	P.415
9	画面切出	P.415
0	全画面表示	P.415
*	AV出力切替	P.415
#（1秒以上）	ライトアップ	P.415

※1　ボタンを押し続けると連続してスクロールします。
※2　ビューアポジションのときは、[i]（左ガイダンス）を１秒以上押します。
※3　ビューアポジションのときは、[カメラ]（右ガイダンス）を１秒以上押します。
※4　ボタンを押すたびに小さくなります。ボタンを押し続けると、だんだん小さくなります。
※5　ボタンを押すたびに大きくなります。ボタンを押し続けると、だんだん大きくなります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

ドキュメントを管理する

ドキュメントビューアからminiSDメモリーカード内の文書ファイルや画像の削除、詳細情報表示、ファイルの並べ替えを行うことができます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.381）

削除について

ドキュメントフォルダ内のファイルは、次の方法で削除できます。

- ［ドキュメント］フォルダ以外のデータはこの操作では削除できません。マイピクチャから操作してください。（☞P.395）

1件削除	ファイルを1件ずつ削除します。
選択削除	複数のファイルを選んでまとめて削除します。最大50件まで選択できます。

並べ替え（ソート）について

選択できるソート順は次のとおりです。

- お買い上げ時は、［ソート解除］に設定されています。
- ドキュメントビューアを終了しても、表示順番は変更されたままです。

日付順（新→旧）	保存した日付の新しい順
日付順（旧→新）	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、半角数字→半角英大文字→半角英小文字→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→平仮名→全角片仮名→漢字→半角片仮名→絵文字1→絵文字2の順 ※各文字種類内では、文字コード順
サイズ順（大→小）	サイズの大きい順
サイズ順（小→大）	サイズの小さい順

関連操作

ファイルを削除する＜削除＞

1 「Word、Excelファイルなどを表示する」の操作2の画面で、ファイル▶［メニュー］［1］
2 ［1］
- 複数のファイルを選んでまとめて削除するとき：［2］▶ファイル●（くり返し）▶［i］［完了］
3 ［はい］▶●

詳細情報を表示する＜情報表示＞

「Word、Excelファイルなどを表示する」の操作2の画面で、ファイル▶［メニュー］［2］
- 確認を終わるとき：●［確認］または［CLR］

ファイルを並べ替える＜ソート＞

「Word、Excelファイルなどを表示する」の操作2の画面で［メニュー］［3］▶ソート方法▶●
- 解除するとき：［メニュー］［3］［6］

お知らせ

情報表示について

- 表示される情報は保存日時、ファイルサイズ、ファイル形式、ファイル名です。

添付ファイル確認

miniSDメモリーカードに保存されたメールの添付ファイルを表示する

miniSDメモリーカードに保存されたメール（☞P.391）の添付ファイルを、ドキュメントビューアで表示できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.381）

- 表示できるファイルの種類
  Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、Plain Text、PNG、BMP
- JPEG、GIFファイルはイメージビューアで表示されます。

1 待受画面で●8＊12を押し、ｉモードメールの種類を選んで●を押す。

- TOPメニューから（ツール）→［miniSD管理］→［miniSDデータ参照］→［メール］の順に選択することもできます。
- 待受画面でを押し、受信BOX／送信BOX／未送信BOXを選んで#を押しても操作できます。

2 ｉモードメールを選んで●を押す。

- メール表示画面が表示されます。

3 添付ファイルを選ぶ。

受信メールの添付ファイルを確認する	8→ファイル→●
送信メールの添付ファイルを確認する	6→ファイル→●
未送信メールの添付ファイルを確認する	5→ファイル→●

お知らせ

- 10000バイト以上の添付ファイルは表示できません。

ブックリーダー

電子辞書やブックを表示する

miniSDメモリーカードに保存されている電子辞書／ブックを、FOMA端末で表示できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.381）

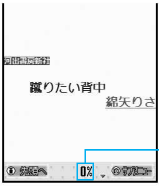
- 表示できるブック／辞書の種類（拡張子）：XMDF形式（.zbf）、TEXT形式（.zbk .txt .text）
- 閲覧するファイルはあらかじめminiSDメモリーカードの\BOOKフォルダに置いてください。（☞P.384）
- お買い上げ時は、FOMA端末（本体）に「サポートブック（内蔵）」が内蔵されています。
- 操作の前にFOMA端末のminiSDメモリーカードスロットに、電子辞書やブックが入っているminiSDメモリーカードを挿入しておいてください。サポートブック（内蔵）をご利用になる場合、miniSDメモリーカードを挿入する必要はありません。
- ブック／辞書によっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、FOMA端末では音声をご利用になれません。画像によってもご利用になれない場合があります。

1 待受画面で●91を押す。

- TOPメニューから（ケータイビューア）→［ブックリーダー］の順に選択することもできます。
- TOPメニューから（ツール）→［miniSD管理］→［miniSDデータ参照］→［ブックリーダー］の順に選択することもできます。
- ブックリーダー一覧画面が表示されます。
- 前回の閲覧時にまたはを１秒以上押して終了した場合、終了時に表示されていたページが表示されます。

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

2 ブック／辞書を選んで◉を押す。



内容表示画面
（横書き画面）

現在のページが全体のおよそ何%の位置にあるかを示しています。



内容表示画面
（縦書き画面）

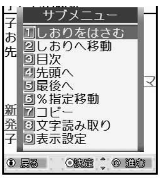
行を移動する	横書き画面	⊙（上下）
	縦書き画面	⊙（左右）
次のページを表示する	横書き画面	⊙（右）／📷 ● ビューアポジションのときは📷（右ガイダンス）を１秒以上押しても操作できます。
	縦書き画面	⊙（下）／✉ ● ビューアポジションのときはⓘ（左ガイダンス）を１秒以上押しても操作できます。
前のページを表示する	横書き画面	⊙（左）／✉ ● ビューアポジションのときはⓘ（左ガイダンス）を１秒以上押しても操作できます。
	縦書き画面	⊙（上）／📷 ● ビューアポジションのときは📷（右ガイダンス）を１秒以上押しても操作できます。
先頭のページを表示する		ⓘ［先頭へ］または📷4
ブックリーダー一覧に戻る		CLRまたは📷＊

お知らせ

● 綿矢りさ著「蹴りたい背中」©ザウルスセレクト文庫／河出書房新社提供
● 画面は表示例です。

■ 履歴を表示する

前に表示したページを、順に戻ったり進んだりできます。
● 履歴がないときは、［戻る］［進む］は表示されません。



表示したページを順に戻る	ⓘ［戻る］
表示したページを順に進む	📷📷［進む］

お知らせ

● PWR/HLDまたはCLRを１秒以上押してブックリーダーを終了したときは、次回ブックリーダーを起動すると、自動的に終了時のページが表示されます。ただし、挿入し直したminiSDメモリーカードに、終了時に閲覧していたファイルが入っていないときや、文字読み取りから起動したときは表示されません。また、待受画面からサポートブックを起動したときも表示されません。（その場合、次回ケータイビューアを起動したときは、サポートブックを起動する前に表示した終了時のページが表示されます。ブックを開いていなかった場合は、ブックリーダー一覧画面が表示されます。）アシスタントビューからサポートブックを起動したときも表示されません。
● ブック／辞書によってはパスワードの入力が必要な場合があります。パスワード（最大16桁）を入力して◉を押してください。
● データによっては、コンテンツ内の他のページに移動する情報が埋め込まれている場合があります。情報が埋め込まれている文字列や画像を選び◉を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページでⓘ［戻る］を押すと、元のページに戻ります。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- ファイル一覧に表示できるのは最大400件までです。
- 「家庭の医学」© 2004 Jiji Press Publication Services, Inc.
- 画面は表示例です。

アシスタントビューを使う

- メール作成中などにview②を押すと、ブックリーダーを利用できます。ビューアポジションのときは、⦿（シャッター）を１秒以上押します。（☞P.430）

関連操作

フォルダを切り替える<表示フォルダ切替>

「電子辞書やブックを表示する」の操作１のブックリーダー一覧画面（☞P.418）で📷4▶フォルダ▶◉

お知らせ

表示フォルダ切替について

- 携帯情報端末など、FOMA端末以外でXMDF形式のブックを利用していた場合、そのブックの入ったフォルダを表示できます。
- 利用されていた携帯情報端末によっては、フォルダを表示できない場合もあります。

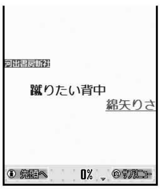
■ 内容表示画面の操作方法

ブック／辞書の内容表示画面では次の機能を利用できます。

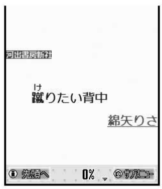
機能		説明
しおりをはさむ		表示中のページにしおりを設定します。１つのブック／辞書に最大２個（最大11冊）のしおりを設定できます。
しおりへ移動		以前に設定したしおりのページを表示します。
目次		目次に対応した書籍データの場合は、目次からページを表示できます。
先頭へ		先頭のページを表示します。
最後へ		最後のページを表示します。
%指定移動		文書全体のページ数に対するおおよその位置を%で指定して表示します。
コピー		ブック／辞書内の文字列をコピーします。他の画面などに貼り付けできます。一度にコピーできる文字数は最大全角20文字（半角20文字）です。
表示設定	文字サイズ設定	ブック／辞書の文字サイズを［大きい文字］［標準］［小さい文字］に設定できます。（お買い上げ時：標準）
	縦横設定	画面の縦横表示を設定できます。（お買い上げ時：縦書き）
	ルビ表示	ルビ（ふりがな）を表示するかどうかを設定できます。（お買い上げ時：OFF）
リストへ		ブックリーダー一覧画面を表示します。



縦書き画面



横書き画面



ルビ表示［ON］

関連操作

しおりをはさむ<しおりをはさむ>

1 内容表示画面（☞P.419）で📷1

2 1［しおり１］

- しおり２を設定するとき：2

関連操作

しおりへ移動する<しおりへ移動>
内容表示画面（☞P.419）で[2]▶しおり▶●

目次からページを表示する<目次>
内容表示画面（☞P.419）で[3]▶項目▶●

最後のページを表示する<最後へ>
内容表示画面（☞P.419）で[5]

%指定でページを移動する<%指定移動>
内容表示画面（☞P.419）で[6]▶移動先（2桁：00～99%）を入力▶●

文字をコピーする<コピー>
内容表示画面（☞P.419）で[7]▶最初の文字▶●［開始］▶最後の文字▶●［コピー］

文字サイズを設定する<文字サイズ>
内容表示画面（☞P.419）で[9][1]▶文字サイズ▶●

縦書き／横書きを切り替える<縦横設定>
1 内容表示画面（☞P.419）で[9][2]
2 [1]
- 縦書きに設定するとき：[2]

ルビ（ふりがな）を表示するかどうかを設定する<ルビ表示>
1 内容表示画面（☞P.419）で[9][3]
2 [1]
- ルビ表示しないとき：[2]

ブックリーダー一覧画面を表示するとき<リストへ>
内容表示画面（☞P.419）で[CLR]または[*]

お知らせ

しおりについて
- 12冊目のしおりを設定すると、自動的に古いしおりから消去されます。
- ブックリーダーを終了すると、最後に表示していたページに［自動しおり1］が設定されます。次に同じブック／辞書を表示し、終了した場合は、最後に表示していたページが［自動しおり1］に設定され、前回の［自動しおり1］は［自動しおり2］に設定されます。（自動しおりも、1つのブック／辞書に最大2個（最大11冊）まで設定され、古いものから自動的に消去されます。）
- 電池パックを取り外したときは、［自動しおり］は設定されません。
- 待受画面で[view]を押してサポートブック（内蔵）を起動したときは、［自動しおり］を参照せずに常に先頭ページから表示されます。また、アシスタントビューからサポートブックを起動したときは、［自動しおり］を参照せずに起動元の機能に対応したページまたは先頭ページが表示されます。

コピーについて
- 電源を切ると、読み取った文字は破棄されます。
- コピーできない文字もあります。
- マスクが設定されている文字やルビ文字、外字などはコピーできません。

表示設定について
- データによっては、表示を切り替えることができないものや、表示の設定が指定されているブック／辞書もあります。
- サポートブック（内蔵）は縦書き／横書きの切り替えに対応していません。

ルビ表示について
- ルビが設定されていないブック／辞書では表示されません。

サポートブック（ヘルプ）を利用する

待受画面でviewを押す。

- TOPメニューから（ケータイビューア）→［ブックリーダー］→［サポートブック（内蔵）］の順に選択することもできます。
- 音声電話の通話中やメール作成中などにview（ビューアポジションのときは、（シャッター）を１秒以上）を押して、サポートブック（内蔵）を呼び出して利用することもできます。（☞P.36）
- サポートブック（内蔵）から対応する機能を起動することもできます。（☞P.37）

辞書で調べる

辞書もブックと同様の操作が可能です。辞書の検索例を説明します。

- 文字読み取りで読み取った文字を辞書で調べることもできます。（☞P.424）
- 操作の前に、電子辞書が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。

※ FOMA SH901iSに辞書は内蔵されていません。別途お買い求め下さい。

1 待受画面で●91を押し、辞書を選んで●を押す。

文字読み取りで文字を読み取るとき

- 8を押します。（☞P.198）

2 入力欄を選んで●を押し、用語を入力して●を押す。

- 半角255文字まで入力できます。
- 検索結果が表示されます。
- 該当する文字列がない場合、［検索文字列は見つかりませんでした］と表示されます。

3 用語を選んで●を押す。

- 内容が表示されます。

ブック／辞書内の情報を利用する

ブック／辞書内から他のページへ移動したり、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用したり、動画の実行、静止画の保存、文字列のマスクなどの機能を利用することができます。（対応ページのみ）

- 操作の前に、電子辞書やブックが入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。

Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する

ブック／辞書内で反転表示された文字情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）やPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能が埋め込まれた画像を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、サイトやインターネットホームページを表示できます。（☞P.230）

1 待受画面で●91を押し、ブック／辞書を選んで●を押す。

- 内容表示画面が表示されます。

2 電話番号やメールアドレス・URLなどを選んで●を押す。

- 確認画面が表示されます。
- 画像に設定されているときは、画像を選んで●を押します。
- 画像に［マイピクチャ登録］が設定されているときは、●1［リンクへ移動］を押します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

3 ［はい］を選んで◉を押す。

- Phone To（AV Phone To）機能が設定されているときは、テレビ電話の場合は、表示されている電話番号を確認し、［テレビ電話］を押します。音声電話の場合は、表示されている電話番号を確認し、◉［音声電話］を押します。
- Mail To機能が設定されているときは、メールアドレスが入力されたメール作成画面が表示されます。
- Web To機能が設定されているときは、接続が開始され、サイトやホームページが表示されます。

お知らせ

- 電話番号やメールアドレス、URLが表示されていても、電話をかけたり、メッセージを送信したり、画面を表示できない場合もあります。

リンク先のページを表示する

文字列や画像に別のページのリンク情報が設定されているときは、そのページを表示できます。

「**Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To**機能を利用する」（☞**P.422**）の操作１の内容表示画面で、リンク情報が設定されている文字列や画像を選んで◉を押す。

- リンク先のページが表示されます。

動画を再生する

画像に動画を実行する情報が設定されているときは、動画を再生できます。

「**Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To**機能を利用する」（☞**P.422**）の操作１の内容表示画面で、画像を選んで◉を押す。

- 動画の再生が始まらないときは、◉1［動画の実行］を押します。

関 連 操 作

文字列や画像をマスクする<マスク>

「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」（☞P.422）の操作１の内容表示画面で文字列／画像▶◉

- マスクされた文字列／画像を表示するとき：文字列／画像▶◉
- 画像に［マイピクチャ登録］が設定されているとき：画像▶◉1［マスクの切替］

ブック／辞書内の画像を保存する

ブック／辞書に表示された静止画をマイピクチャ（☞P.343）に保存すると、待受画面などに設定できます。（☞P.128）

- PNG形式など、保存できない画像もあります。
- 保存した画像は、マイピクチャ内の［カメラ撮影］フォルダに保存されます。（☞P.173）
- 画像の保存件数は、最大700件です。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
- すべて著作権のある画像として保存されます。miniSDメモリーカードへの保存や、メールへの添付はできません。

1 「**Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To**機能を利用する」（☞**P.422**）の操作１の内容表示画面で、静止画を選んで◉を押す。

- メニュー画面が表示されます。

2 ［マイピクチャ登録］を選んで◉を押す。

- マイピクチャに保存されます。

文字読み取り

カメラで文字を読み取って検索する

電子辞書を表示中に、英単語をFOMA端末で撮影し、検索できます。

- 操作の前に、電子辞書が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。
- 詳しくは、P.198「文字を読み取る」を参照してください。

例：英和辞書の場合

1 **P.422**の「■辞書で調べる」の操作１の内容表示画面で📷 8 を押す。



- カメラが起動し、文字読み取り画面が表示されます。

2 読み取る文字をディスプレイの中央に表示する。（☞**P.198**）

3 ◉を押す。

- 静止画として撮影され、読み取る内容が表示されます。
- 複数の行を撮影したときは、◌で読み取る行を指定します。（文字の読み取りは一行単位で行います。）

4 ◉［読取］を押す。



- 文字の読み取りが開始されます。
- 読み取りが完了すると、文字読み取りの候補選択画面になり、読み取った文字の内容が表示されます。

5 単語を選んで◉を押す。

- 内容が表示されます。

ブック／辞書を管理する

ブック／辞書は削除したり、ファイル名を編集したり、詳細情報を表示できます。

■ ブック／辞書の削除について

ブック／辞書は、次の方法で削除できます。

- サポートブック（内蔵）は削除できません。

１件削除	ファイルを１件ずつ削除します。
フォルダ内全件削除	該当フォルダに表示されているすべてのファイルを削除します。
選択削除	複数のファイルを選んでまとめて削除します。最大50件まで選択できます。

■ 詳細情報について

表示される詳細情報は次のとおりです。

- XMDF形式（.zbf）は、ブックリーダー一覧画面ではタイトル、ファイル名、著者、出版社、ファイルサイズが、内容表示画面ではシリーズ、タイトル、サブタイトル、ファイル名、著者、出版社、要約、配布日時、ファイルサイズ、配布時の刻印情報が表示されます。（これらの項目でもブック／辞書に記録されていない情報は表示されません。）
- TEXT 形式（.zbk、.txt、.text）は、ブックリーダー一覧画面ではファイル名／ファイルサイズ以外の情報は常に空白表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）

関連操作

ブック／辞書を削除する＜削除＞

1 待受画面で◉ 9 1 ▶ブック／辞書▶ 2
2 1
● フォルダ内のすべてのブック／辞書を削除するとき：2▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉
● 複数のブック／辞書を選んでまとめて削除するとき：3▶ブック／辞書◉（くり返し）▶［完了］
3 ［はい］▶◉

ファイル名を編集する＜ファイル名編集＞

待受画面で◉ 9 1 ▶ブック／辞書▶ 1 ▶ファイル名入力▶◉

詳細情報を表示する＜情報表示＞

待受画面で◉ 9 1 ▶ブック／辞書▶◉▶ 0
● ブックリーダー一覧画面から表示するとき： 3
● 確認を終わるとき：◉［確認］

お知らせ

ファイル名編集について
● サポートブック（内蔵）のファイル名は変更できません。
● ファイル名は、全角109文字（半角218文字）まで入力できます。
● 半角８文字以内のファイルの名前および拡張子の英字は、半角小文字が半角大文字に変わる場合があります。

詳細情報について
● サポートブック（内蔵）の情報は表示できません。
● ファイル名は、拡張子もあわせて表示されます。

プリント指定（DPOF）

保存した画像を印刷する

DPOF（ディーポフ：「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。FOMA端末で撮影したminiSDメモリーカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントできます。

● サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画はプリントできません。ただし、miniSDメモリーカードにコピーできるJPEG画像の場合は、プリントできます。
● プリント時の操作など、詳しくは、プリントする機器の取扱説明書を参照してください。
● DPOF対象となるフォルダ
　■ 撮影静止画用フォルダ／ユーザ作成フォルダ（☞P.384）
　■ 他の機器で作成したDCF準拠フォルダ（☞P.191）
● DPOF対象となるファイル
　■ 上記フォルダに保存されている静止画（DCF準拠JPEG）
● FOMA端末（本体）の静止画は指定できません。

miniSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する＜プリント指定（DPOF）＞

1 待受画面で◉ 7 6 を押す。
● TOPメニューから（データBOX）→［プリント指定（DPOF）］の順に選択することもできます。
● プリント指定（DPOF）のフォルダ一覧画面が表示されます。
● すでに他の機器で設定したDPOFがあるときは、確認画面が表示されます。クリアするときは、［はい］を選んで◉を押します。クリアしないと、新たにDPOFを設定できません。

次ページへ続く

2 プリント内容を設定する。

静止画を選んでプリント枚数を設定する	フォルダ→●→静止画→[カメラ]1→枚数（1～99）を入力→● ● 静止画を選んで、0～9でプリント枚数を入力することもできます。 ● 続けて他の静止画を指定できます。 ● 画像一覧画面で次のページを表示するときは[右]、前のページを表示するときは[左]を押します。
すべての静止画を同じ枚数ずつプリントする	[カメラ]11→枚数（1～99）を入力→●
[640×480以上]の静止画を同じ枚数ずつプリントする	[カメラ]12→枚数（1～99）を入力→●
[1024×768以上］の静止画を同じ枚数ずつプリントする	[カメラ]13→枚数（1～99）を入力→●
指定をすべて取り消す	[カメラ]2→［はい］→●
日付を付ける	[カメラ]31 ● 静止画のプロパティの日付が付けられます。
インデックスプリントを指定する	プリント枚数を設定→[カメラ]41 ● インデックスプリントとは、はがきやA4用紙などに縮小画像をファイル名付きで印刷する機能です。
プリント指定状況を確認する	[カメラ]5 ● 枚数一括指定をしている場合、枚数は概算が表示されます。

3 [メニュー]［完了］を押し、［はい］を選んで●を押す。

● プリント指定をやり直すときは、［いいえ］を選んで●を押します。

4 ●［確認］を押す。

お知らせ

● 他の機器でminiSDメモリーカードに保存したDCF準拠以外の静止画は、印刷指定できない場合があります。
● PDF対応ビューア、ドキュメントビューアで切り出したファイルはプリントできません。
● 枚数一括指定で［640×480以上］、［1024×768以上］からプリント枚数を指定した場合は［一括リセット］できません。

関連操作

静止画を並べ替える<ソート>
待受画面で●76▶フォルダ▶●▶[カメラ]2▶ソート方法▶●

 ＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.381）